

第二十三回 貴族院議事速記録第七號

明治四十年二月十八日(月曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第七號 明治四十年二月十八日

午前十時開議

- 第一 明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案
(第一號) 會 議(豫算委員) 長報告
- 第二 明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案
(第二號) 會 議(豫算委員) 長報告
- 第三 明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會 議(豫算委員) 長報告
- 第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 會 議(豫算委員) 長報告
- 第五 帝國大學特別會計法案(政府提出案) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 學校及圖書館特別會計法案(政府提出案) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 關東都督府特別會計法案(政府提出案) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會(續) 委員長報告
- 第十三 刑法改正案(政府提出案) 第一讀會(續) 委員長報告
- 第十四 北海道地方費法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會(續) 委員長報告
- 第十五 千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會(續) 委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス
〔東久世書記官朗讀〕

去ル十四日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

帝國大學特別會計法案

學校及圖書館特別會計法案

關東都督府特別會計法案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

一昨十六日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵徳川 賴倫君 副委員長 男爵野田 裕通君

北海道地方費中改正法律案特別委員會 副委員長 男爵野田 裕通君

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 子爵本莊 宗義君

事業公債條例中改正法律案特別委員會 副委員長 男爵船越 衛君

委員長 西村 亮吉君 副委員長 男爵船越 衛君

同日議員關義臣君ヨリ三十四名ノ賛成ヲ以テ刑法改正案ニ對スル修正案ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案

樺太廳特別會計法案

樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ郵便法中改正法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リヲ致シタウゴザイマスガ、議事日程ノ第一ヨリ第四マデハ豫算委員長ノ報告デアリマスガ、一括シテ報告ヲ煩ハシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、豫算委員長正親町伯爵ノ登壇ヲ促シマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

一明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スベキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年二月十六日

豫算委員長 伯爵正親町實正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案、豫算會議ニ於キマスル經過並ニ結果ヲ御報道申シマス、追加第一號ニ就イテ申シマスルガ、此追加ノ總額ガ歳入歳出共ニ九百八十一萬圓餘デゴザイマス、此中、歳出ノ中ニ就キマシテハ重モナル支出ハ大藏省所管デアリマシテ、經常部、臨時部合シマシテ七百八十五萬圓餘ト云フコトニナリマシテ、殆ド大藏省所管ノ歳出デゴザイマス、其中重モナルモノハ御覽ノ如ク此經常部大藏省所管ノ國債整理基金繰入金五百九萬四千五百七十一圓、此繰入ハ主トシテ私設鐵道買收ノ結果、鐵道會社ニ交付シマス公債證書ノ利子並ニ社債ノ利子等ノ計上デアリマス、其高ガ三百八十七萬圓餘ニナリマス、ソレカラ臺灣事業費ノ借入金ヲ此國債整理基金ノ中カラ立換返濟ヲ致シテゴザイマス譯デアリマシテ、此事業費ノ中ガ豫算ヨリ少シク餘リマシテ、ソレガ政府ニ殘リマシタコトデゴザイマスルカラシテ、ソレヲ更ニ此國債整理基金ノ中ニ繰入シ返濟ヲ致ス、ソレガ四十三萬圓餘ニナリマス、ソレカラ公債整理ノ追拂、是ガ素ト此公債利子ト云フモノ、仕拂ハ日本銀行ノ方ニ先拂デ渡シテ置ク譯ダサウデアリマス、ソレ故ニ此利子ノ請取未請求者ガアリマス、ソレダケ其金ガ餘リマスカラ、其餘ツタ金ハ一旦國庫ニ編入スルコトニナリマス、ソレヲ又更ニ此追拂ノ爲ニ支出ヲ要シマスカラ、ソレ故ニ此國債整理基金ニ繰入レマス、ソレハ七十八萬圓餘ニナリマス、合計斯ノ如キ高ニナリマス、ソレカラ此臨時部ノ方デ重モナルモノハ臨時事件豫備費デゴザイマス、ソレガ二百五十萬圓ゴザイマス、是ガ三十九年度ノ豫算ニ於キマシテ御承知ノ七千九百五十萬圓ト云フモノガ要求ニナッテ居リマシタガ、ソレデ少シク不足ヲ告ゲマス、勿論現今ノ所デハ豫算ニハマダ六百萬圓餘ノ殘餘ガアルケレドモ、是ハ

陸海軍ノ方ニ既ニ用途ノ決ッテ居ル金デアッテ其他ニ向ッテハ不足スル、ソレハドウ云フ所ニ不足ヲ生ジタカト申シマスレバ、關東都督府ノ費用ニ向ッテ百二萬圓、統監府ノ費用ガ六十二萬圓、滿洲軍政署撤退ニ依リ領事館出張所ヲ設置シマスルニ就イテ二十九萬圓、ソレカラ勳章勳記製造ノ不足費ガ二十一萬圓、軍人下賜金特別資金取扱費ガ二十二萬圓餘、合計シマシテ此二百五十萬圓ガ不足シマスルニ就イテ此追加ヲ請求シタ、斯ウ云フ譯デゴザイマス、其他四分利付清國債券元利、是ハ諸君御承知ノ通り元ト預金局デ賣出シタ債券デアリマスカラ、年々清國カラ受取リマス共ニ此預金部ノ方ニ返濟シテ居ルノデゴザイマスルガ、是マデ清國カラ受取リマシタノハ年々六月ト十二月ノ兩度ニ受取ッタサウデアリマスガ、三十八年度ノ六月カラ月々受取ルコトニナリマシテ、ソレガ爲ニ三十九年度分ヲ即チ四十年ノ一月、二月、三月ト云フモノヲ先キニ三十九年度中ニ受取ルコトニナリマス、ソレ故ニ此三十九年度ニ於キマシテハ三月ダケ餘計ニ金ガ餘ルト云フ結果ニナリマシタ爲ニ、是ダケ特ニ預金部ノ方ニ今度返濟ヲ致シマス、サウシマス跡ハ年度ノ通りニ能ク當嵌ッテ行ク、斯ウ云フ勘定ニナルサウデアリマシテ、ソレガ爲ニ此三月分ダケヲ更ニ翌年度ニ於テ預金部ノ方ニ返シテ置クト云フ譯ダサウデアリマス、先ヅ斯様ナコトデ、其他ノ重モナルモノハ内務省所管ノ災害費デアリマシテ、是ハ四十一萬圓デ、此請求ハ御覽ノ各項ニ書イテアリマス通りノ内譯ニナッテ居リマス、是ハ風水害デ已ムヲ得ヌ支出デアラウト認メマシタ、ソレカラ海軍省ノ部デ軍艦ノ三笠復舊費ガ八十萬圓、是ハ先達テ災害ニ罹リマシタ三笠艦ノ復舊費デゴザイマシテ、是モドウモ已ムヲ得ヌデアラウ、ソレカラ外國派遣軍艦費、是ハ今度亞米利加ヘ派遣シマスル軍艦派遣費デアリマシテ、是ノ合計ガ七十九萬圓イクラト云フモノニナリマスルガ、其跡ノ五十何萬圓ト云フモノハ四十年度ノ豫算ニ於テ要求シテゴザイマス、是ニ是ダケ追加豫算トシテ要求サレタ譯デアリマス、其他農商務遞信等ニ少シヅ、ノ御覽ノ如キ準備費ガゴザイマスルケレドモ、要シマスルニ此追加豫算ノ金額ハ總テ法律ノ結果、又ハ政府ノ義務ニ屬スル費用、其他已ムヲ得ザルモノト認メマシタ爲ニ委員會ニ於キマシテハ原案ノ通り可決シテ然ルベキモノト議決シタ譯デゴザイマス、之ニ對シマスル歳入デゴザイマスルガ、是ハ私設鐵道買收ニ依リマシテ生ジマス所ノ鐵道益金ガ五百三十三萬圓ゴザイ

マス、是ハ本年ノ三月マデノ利益金デゴザイマス、ソレカラ雜入ガ七十七萬圓ト云フモノガゴザイマス、是ハ先刻申上ゲタ公債整理ノ未請求者ノ爲ニ銀行ニ殘リマシタ金ヲ一旦國庫ニ返納シマシタ其高デゴザイマス、ソレデ今度追拂トシテ支出シマスニ就イテ、之ヲ財源ニ向ケマシタノデゴザイマス、ソレカラ其他ハ前年ノ繰入金、是等モ皆總テ差支ナイモノト認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ此歳入全部ヲ可決イタシマシテゴザイマス、ソレカラ其次ハ第二號デゴザイマス、二號ハ誠ニ輕少ナ金デゴザイマスルガ、是ハ總テ外國ノ電信料デ、是ハ詰リ電信ガ外交上、頻繁ナ爲ニ電信料ニ非常ニ不足ヲ生ジテ是ダケガ必要デアルト云フノニ過ギナイノデゴザイマシテ、是モ已ムヲ得ヌコト、考ヘマシタ、ソレカラ歳入ハ前年度繰入金デゴザイマス、ソレカラ特第一號、是モ主トシテ大藏省所管ノ國債整理基金ト云フノガ最モ其中ノ重モナル金額デゴザイマス、ソレハ一千五百七十七萬圓餘ニナツテ居リマス、其歳出歳入トモ同額デアリマス、此歳入ノ中、五百九萬四千餘圓ト申シマスルノハ、前申上ゲマシタ一般會計ノ一號ニ計上シテゴザイマス所ノ國債整理基金繰入金ヲ以テ之ニ充テマシタ、其他殘リノ五百四十八萬五千圓ト申シマスモノハ、是ハ詰リ私設鐵道會社ノ社債返済ノ爲ニ借換ニ要シマスル所ノ公債ヲ募集イタシマシテ之ニ充テルノデゴザイマシテ總計高ノ如クナリマス、ソレカラ支出ノ項目ハ此明細書各目ニアリマス通りノ仕拂ノナニナリマス、其他臺灣總督府、臺灣官設鐵道用品資金等モゴザイマスガ、是等モ皆總テ已ムヲ得ザルモノト認メマシテ委員會ニ於キマシテハ可決イタシマシタ、ソレカラ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、是ハ御覽ノ通り南滿洲鐵道會社ニ對シマシテ社債利子ノ補給、ソレカラ社債ノ元利ノ保證等ニ付イテ結バウト申ス所ノ契約デゴザイマシテ、是ハ別段何ノ異議モゴザイマセズ委員會ハ可決イタシマシタ、大體申上ゲマシタ通りノコトデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセヌケレバ採決イタシマス、明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案第一號、豫算委員長報告通り御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ニ明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案第二號、是モ豫算委員長報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ニ明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、是モ豫算委員長報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、是モ豫算委員長報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、帝國大學特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ヲ致サセマス

「東久世書記官朗讀」

帝國大學特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治四十年二月十四日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

「左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス」

帝國大學特別會計法

第一條 東京帝國大學及京都帝國大學ハ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ一切ノ歳出ニ充ツルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 前條ノ政府支出金ハ東京帝國大學ニ在リテハ毎年度金百三十萬圓、京都帝國大學ニ在リテハ毎年度金百萬圓トシ一般會計ヨリ之ヲ繰入ルヘシ

第三條 各帝國大學ノ資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動産及不動産並歲入殘餘ヨリ成ル

第四條 帝國大學ノ歲出ニ充ツル爲必要アルトキハ其ノ資金ヲ支消スルコトヲ得但シ用途指定ニ係ル資金ニ付テハ用途指定者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五條 政府ハ毎年各帝國大學ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 各帝國大學ノ豫算中ニハ會計法第七條ノ豫備費ヲ設クヘシ

第七條 帝國大學ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本及實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第八條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九條 獎學ヲ目的トスル寄附金ハ帝國大學總長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第十條 委員經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル

附則

第十一條 帝國大學ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣牧野伸顯君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(牧野伸顯君) 此法案ニ就キマシテ大體ノ説明ヲ申上ゲマス、此法案ノ骨子ハ第二條ニ掲ゲテアリマス通リ大學ニ對スル政府支出金ヲ法律ヲ以テ一定スルト云フノデゴザイマス、其金額ヲ定メマシテ法律ヲ以テ之ヲ期限ナシニ定メルト云フノデゴザイマス、斯ク金額ヲ一定イタシマスノハ專ラニツノ理由ニ基クノデアリマス、大學ノ經營上カラ致シマシテ其必要ヲ認メ、又財政經畫ノ上ヨリ致シマシテ同ク此改正ヲ便利ト考ヘマスノデアリマス、大學ノ經營上ノ便利ト申シマス、毎年ノ政府支出金ガ一定イタシマス、爲ニ、諸般ノ事業ヲ營ミマス上ニ付イテ凡ソ數年ヲ見通シマシテ、其事業ノ緩急順序等ヲ考ヘマシテ、徐々ト之ヲ實行スルコトガ出來ルノデアリマス、唯今ノ有様デゴザイマス、毎年豫算ニ依テ之ヲ決メルノデゴザイマスガ、金

額ガ一定イタシマス以上ハ、其定額ノ範圍内ニ於キマシテ、各分科大學内ノ事業ヲ進行イタシマス順序ヲ立テテ之ヲ遂行イタシマスノデアリマス、其事業ノ進行ノ方針ガ立チマスノデ大ニ大學ノ經營上、便利ヲ感ジマスノデアリマス、大學ノ經濟ハ誠ニ複雑デゴザイマシテ、百有餘ノ講座ガアリマシテ、之ニ伴フ教室ガアリマス、皆多少ノ費用ヲ要スルノデアリマシテ、其緩急ヲ毎年定メマスコトハ頗ル困難ノコトデアリマスガ、金額ヲ一定イタシマス以上ハ其緩急等ヲ定メマスコトガ大ニ平易ニナラウト信ズルノデアリマス、財政上ノ都合ハ申スマデモナク一定ノ金額ガ政府支出金トシテ出ルト云フコトハ毎年ノ増減ヲ避ケテ國庫ノ歲出上ニハ都合ノ宜イコトハ申スマデモナイコトト信ジマス、金額ガ一定イタシマス以上ハ、豫算ノ編製上ニ於キマシテ幾ラカ自由ヲ與ヘル必要ヲ認メマスノデアリマス、毎年多少豫想外ノ出來事モアリマス、是等ノ費途ニ充テマス爲ニハ或ハ普通豫算ノ款項目内デ辨ズルコトハ困難ナ場合モアラウト考ヘマスガ、ソレ等ノ場合ヲ豫想シマシテ、豫算ノ編製ノ式ヲ幾ラカ簡略ニシマシテ、此範圍内デ是等ノ不時ノ費途モ辨ズルコトヲ得ルヤウニ致シタイノデアリマス、是ハ豫算ヲ提出スル曉ニ於キマシテ委シク申上ゲマスルデゴザイマス、尙ホ申述べマスガ、此金額ヲ一定イタシマス以上ハ、行政上ノ監督ガ或ハ緩慢ニナリハセヌカト云フ疑モアリマスノデアリマス、ソレニ對シテハ政府ニ於キマシテハ特ニ之ヲ大學ノ歲出入ノ仕拂等ヲ豫算ノ編製等ニ付キマシテ監督ヲ從前ノ通り法律上、當然ノ監督ヲスルト云フ爲ニ經理委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、此度新ニ特別會計法ニ改メマスルニ付キマシテハ此新設ノ監督機關ヲ以テマシテ法律上、當然ノ監督ヲ怠ラヌヤウニスルト云フ考デアリマス、ソレデ豫算ハ幸ニシテ此法案ガ通過イタシマスレバ、豫算ハ毎年他ノ總豫算ト共ニ提出イタシマスノデゴザイマシテ、此豫算ヲ以テ協賛ヲ希望イタスノデアリマスカラ、法律デ金額ヲ定メマスモノノ其金額ノ協賛ニ就イテハ議會ハ是マデ通りニ協賛權ヲ有シテ居ル次第ト考ヘマス、御審議アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發議ガゴザイマセバ次ノ議事日程ニ移リマス

〔伯爵德川達孝君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ハ質問デスカ
○伯爵德川達孝君 此委員ノ選定ノコトニ就イテ述べタイ、第五ノ法案ト第

七ノ法案トハ相關聯シテ居リマスカラ、第五ノ方ヘ第七ヲ付託シマシテ、委員ノ數ハ九名ニシテ例ノ通り議長ヨリ御選定アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ニハ第五ノ法案ノ委員ト第七ノ法案ノ委員ト同一委員ニスルト云フノデアリマスカ

○伯爵德川達孝君 サウデアリマス

○議長(公爵德川家達君) ソレハ第七ノ法案ノ説明ガ濟ミマシタトキニ御發議ニナルノガ適當ノ順序カト思ヒマス

○伯爵德川達孝君 承知シマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員ハ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、學校及圖書館特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、諸君ニ御諮リヲシマスガ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

學校及圖書館特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月十四日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

學校圖書館特別會計法

第一條 文部省直轄諸學校及帝國圖書館ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テシメ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歳出ニ充テシム

第二條 前條ノ政府支出金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ之

ヲ繰入ルヘシ

第三條 學校及圖書館資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動産及不動産並歲入殘餘ヨリ成ル

第四條 資金ハ之ヲ支消スルコトヲ得ス但シ用途ヲ指定シタル資金ハ用途指定者ノ同意ヲ得テ元金ヲ使用スルコトヲ得

第五條 教員事務員ノ俸給、諸給、旅費、器具機械圖書標本費、授業費、試験費、生徒ニ關スル諸費、事務所費、修繕費、雜支出其ノ他寄附者ノ指定シタル費途ヲ以テ學校及圖書館特別會計ノ歲出トス

第六條 政府ハ毎年學校及圖書館特別會計ノ歲入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 學校及圖書館ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本及實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第八條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九條 獎學ヲ目的トスル寄附金ハ之ヲ其ノ學校ニ交付シ學校長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第十條 委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル

第十一條 學校及圖書館特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

官立學校及圖書館會計法ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際各學校及圖書館ニ於テ從來資金トシテ所有スル動産不動産ハ總テ學校及圖書館資金ニ之ヲ編入スヘシ

〔國務大臣牧野伸顯君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(牧野伸顯君) 説明ヲ申上ゲマス、此法案ノ精神ハ第一條ノ「文部省直轄諸學校及帝國圖書館ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テシメ」ト云フ、是ガ精神デアリマス、是マデ直轄學校ハ年々増加イタシマシテ、帝國議會ノ開設ノ時分ハ十五バカリアッタノデゴザイマス、然ルニ年々ノ各學校圖書館ノ増設ニ從ヒマシテ、今年ノ豫算ガ幸ニ通過イタシマヌレバ、三十七八ノ特別會計ガ出來ル次第デゴザイマス、此三十有餘ノ特別會計ヲ編製シ之ヲ議會

ニ提出イタシマスルマデニハ容易ナラヌ手數ヲ毎年度感ズルノデアリマス、文部省直轄學校等ニ於キマシテモ、又大藏省ニ參リマシテモ、同ク少カラヌ手數ヲ之ガ爲ニ費スノデアリマス、幸ニシテ此法案ガ通過イタシマスレバ、ソレ等ノ手數ヲ省ク譯デアリマス、行政上ノ事務ノ殖エマス場合ニ於キマシテ此事務省略ノ一手段ヲ執ルト云フコトハ必要ナコト、考ヘマス、又各直轄學校圖書館ノ經費ヲ通ジマスルト百六十五萬圓ニナルノデアリマス、學校ニ取リマシテハ大金デアリマス、年ニ依リマシテハ或ハ多少ノ餘裕ヲ或ル學校ニ於テ生ズルト云フ場合モアルノデゴザイマス、一方ニ於テ不足ヲ感ズル場合ニ於テ一方ノ餘リヲ以テ之ヲ流用スルト云フガ如キコトハ不利益ガ無クシテ學校經營上ニ於テ多大ノ便益ヲ得ルコトデゴザイマスカラ、此便益モ此法案ノ結果トシテ生ズル次第デアリマス、勿論或ル場合ニハ流用ヲ致シマシテモ既定ノ學校ノ事業ノ發達ヲ妨グルガ如キコトハ當局者ニ於テハ注意シテ避ケル積リデアリマス、却テ各學校ノ發達ハ例ヘバ資金ヲ増殖サセルト云フ如キニ於キマシテハ此法案ハ何等ノ損害ハ與ヘヌ積リデアリマス、豫算ノ編製ハ先刻ノ大學ノモノトハ違ヒマシテ、矢張り一般會計ノ編製法ヲ用ヰマスノデアリマス、項目ハ即チ他ノ行政廳ノ項目ト少シモ違ヒマセヌノデアリマス、豫算ノ議決權ニ影響ヲ及ボス如キコトハアリマセヌノデゴザイマス、是ハ追ッテ提出イタシマス積リデゴザイマス、御協賛ヲ願ヒマス

○伊澤修二君 チョット此法案ノ附則ノ末項ニ「本法施行ノ際各學校及圖書館ニ於テ從來資金トシテ所有スル動産不動産ハ總テ學校及圖書館資金ニ之ヲ編入スヘシ」トアリマスガ、此項ニ就イテチョット伺ヒタイノハ、文部省ノ學校ノ中ニ從來殆ド慈善者ノ寄附ヨリ成立ッテ居ルト云フヤウナ資金ガアル、例ヘバ盲啞學校ノ寄附金ノ如キハソレデアリマス、此慈善者ノ寄附ヨリ成立ッテ居ルト云フヤウナモノモ矢張り同ク此度ハ學校及圖書館資金ト云フ同ジモノニナッテ仕舞フ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ、ソレヲチョット伺ヒタイ

〔政府委員松村茂助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松村茂助君) 唯今ノ御尋チニ御答イタシマス、此最後ノ箇條ニアリマス所ノ「從來資金トシテ所有スル動産不動産」云々ト云フコトハ、御尋チノ通りハ文部省ノ「學校及圖書館資金」ト云フ新シク出來ル資金ニ皆這入ッテ仕舞フノデアリマス、併ナカラ盲啞學校ニ於ケル寄附金ノ如キモノハ

用途ヲ指定シタル寄附デアリマスカラ、是ハ用途ニ從ッテ使用スルト云フコトニナリマスカラシテ、法律上デハ一箇ノ資金ニナリマスケレドモ、之ヲ使ヒ拂フ上ニ於テ其用途ニ從ッテ使ヒ拂ヒマスカラ、チャント分ッテ他ノ所ニ混淆サセテ其金ヲ他ノ學校ニ使フト云フヤウナコトハ當然ナイコトデアリマス

○伊澤修二君 チョット序デニ伺ヒタイノデアリマスガ、サウ致シマス先ヅ帳簿ノ上デハ一ツニナッテ居ッテ用途ダケガ違フノデスカ、帳簿ノ上ニモ別ニ若シ分ッテ置イタナラバ其ノ必要ハ無イヤウニ思ヒマスガ、ドウデゴザイマスカ

〔政府委員松村茂助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松村茂助君) 是ハコレマデノ通り學校ノ特別會計ガゴザイマスレバ、其學校ノ資金トシテ存在スルコトガ出來マスケレドモ、各學校ニ於ケル特別會計ハ廢シマシテ、一本ノ特別會計ト致ス結果、ドウシテモ一緒ニセスケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ此法律ノ上ニハ見エマセヌケレドモ、伊澤君ハ是マデ御承知ノ通り、此會計規則ノ方ニ於キマシテ、サウ云フモノハチャント特別資金ト云フ方ニ入レル筈デアリマスカラ差支ハ無イ積リデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第八ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○伯爵德川達孝君 先刻チョット時機ヲ誤リマシタガ、此所デ以テ第五ノ委員ト同一委員ニ付託スルノ動議ヲ提出イタシマス、委員ノ數ハ先刻ノ通り九名デ宜シウゴザイマス

○伯爵正親町實正君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、關東都督府特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

關東都督府特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月十四日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

關東都督府特別會計法

第一條 關東都督府ノ會計ハ特別トシ其ノ歲入及一般會計ノ補充金ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 關東都督府特別會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 政府ハ毎年關東都督府特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 關東都督府ノ管内ハ御承知ノ如クニ内地トハ諸般ノ制度ヲ異ニシテ居リマス、又事情モ異ナツテ居リマスカラシテ、其會計ハ一般會計ヨリ分離イタシマシテ特別ノ會計ヲ設ケタイト云フ趣意デゴザイマス、且ツ成ルベク會計モ其地方カラ上ガル所ノ收入デ獨立ノ出來ルヤウニシタイト云フ考カラ此法律案ヲ提出イタシマシタ、御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ可テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月十四日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス

第九條 臺灣官設鐵道用品資金會計ノ經營ニ妨ナキ限ハ一般ノ需要ニ應シ機械其ノ他ノ製作修理ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ臺灣官設鐵道用品資金會計ニ屬スル用品ヲ以テ其ノ材料ニ充ツルコトヲ得

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 此法案ハ臺灣ニ於ケル官設鐵道ノ特別會計ノ範圍ヲ少シク擴メルダケノコトデゴザイマシテ、臺灣ニハ御承知ノ通り完全ナル鐵工所ノ數モ甚ダシイ譯デゴザイマシテ、此官設鐵道ノ餘暇ヲ以テ他ノ官廳若クハ會社個人等ノ請求ニ應ジテ機械其他ノ製作又ハ修繕等ヲ致シマシタナラバ大層便益ヲ得ルコトニナリマスノデ、此特別會計ノ範圍ヲ：用品資金會計法ノ範圍ヲ擴メマシテ此便益ヲ圖ラウト云フニ過ギヌノデアリマスカラ、御審査ノ上御協賛ヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員モ議長ガ選定イタシテ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十三、刑法改正案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

刑法改正案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治四十年二月十二日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員副委員長

村田保

目次

第二十二章

本文

○森淫
猥褻。及ヒ重婚ノ罪

第三十六條

急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

防衛ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第三十七條

自己又ハ他人ノ生命、身體、自由若クハ財産ニ對スル現在ノ危難ヲ避クル爲メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ其行爲ヨリ生シタル害其避ケントシタル害ノ程度ヲ超エサル場合ニ限り之ヲ罰セス但其程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

前項ノ規定ハ業務上特別ノ義務アル者ニハ之ヲ適用セス

第三十八條

罪ヲ犯ス意ナキ行爲ハ之ヲ罰セス但法律ニ特別ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラス

罪本重カル可クシテ犯ストキ知ラサル者ハ其重キニ從テ處斷スルコトヲ得ス

法律ヲ知ラサルヲ以テ罪ヲ犯ス意ナシト爲スコトヲ得ス但情狀ニ因リ其刑ヲ輕減スルコトヲ得

第四十三條

犯罪ノ實行ニ著手シ之ヲ遂ケサル者ハ其刑ヲ減輕ス。但自己ノ意思ニ因リ之ヲ止メタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第一百九條

又ハ第一百十條第一項ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得

第二十二章

○森淫
猥褻。及ヒ重婚ノ罪

〔特別委員ノ修正ニ係ル條項ノミヲ載録ス。但シ小字ハ委員ノ修正、ハ削除ノ符號ナリ〕

第二百二條 前二條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得

第二百十九條 老者、幼者、不具者又ハ病者ヲ保護ス可キ責任アル者之ヲ遺棄シ又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲ササルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

刑法改正案ニ對スル修正案

右議院法第二十九條ニ依リ提出候也

明治四十年二月十六日

發議者 關義臣
贊成者 伯爵德川達孝

外三十三名

貴族院議長公爵德川家達君

刑法改正案中左ノ如ク修正ス

刑法目錄中第一編第十三章ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第十四章 祖父母、父母及ヒ子孫例

刑法目錄中第二編第三十五章ノ次ニ左ノ一章ヲ加ヘ第三十六章ヲ第三十七章ニ改メ第三十七章以下各章ヲ順次繰下ク

第三十六章 祖父母及ヒ父母ニ對スル罪

第一編第一章第三條第十二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第十三號ヲ第十四號ニ改メ第十四號以下各章ヲ順次繰下ク

十三 第二百三十六條、第二百三十七條ノ罪及ヒ未遂罪

第一編第十三章第七十二條ノ次ニ左ノ一章及一條ヲ加ヘ第七十三條ヲ第七十四條ニ改メ第七十四條以下各章ヲ順次繰下ク

第十四章 祖父母、父母及ヒ子孫例

第七十三條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母同シ

父母ト稱スルハ繼父母、嫡母同シ子孫ト稱スルハ庶子、曾玄孫及ヒ外孫同シ

第二編第二十六章第二百一條中「自己又ハ」ヲ削リ「直系尊屬」ヲ「祖父母、父母」ニ改ム

第二編第二十七章第二百六條第二項中「自己又ハ」ヲ削リ「直系尊屬」ヲ「祖父母、父母」ニ改ム

第二編第三十一章第二百一十一條第二項中「自己又ハ」ヲ削リ「直系尊屬」ヲ「祖父母、父母」ニ改ム

第二編第三十五章第二百三十五條ノ次ニ左ノ一章及五條ヲ加ヘ第三十六章ヲ第三十七章ニ改メ以下各章ヲ順次繰下ケ第二百三十六條以下各條ヲ順次繰下ケ

第三十六章 祖父母及ヒ父母ニ對スル罪

第二百三十六條 子孫其祖父母、父母ヲ殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百三十七條 子孫其祖父母、父母ヲ教唆若クハ幫助シテ自殺セシメ又ハ其囑託ヲ受ケ若クハ其承諾ヲ得テ之ヲ殺シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第二百三十八條 子孫其祖父母、父母ニ對シ傷害ノ罪其他逮捕、監禁、脅迫、遺棄ノ罪ヲ犯シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス廢篤疾ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百三十九條 子孫其祖父母、父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ六月以下ノ懲役ニ處ス

第二百四十條 第二百三十六條、第二百三十七條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 委員長ハ先日來、所勞ニ付キマシテ本員ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ去スル四日ニ正副委員長ノ選舉ヲ致シマシテ十二日マデ四回委員會ヲ開キマシタ、今回ハ全體ニ付キマシテハ一名ノ反對者モゴザイマセズ、何レモ熱心ニ本案ノ通過ヲ希望セラレマシタ、尤モ質問ハ餘ホド出マシテ、百十二箇所ホドノ質問ガゴザイマシタ、修正モ十一箇所ホド出マシタ、此中八箇ダケガ成立ヲ致シマシタノデゴザイマス、即チ御手許ニ同ッテ居リマスル通りノ修正ヲ加ヘマシテ委員會ハ通過ヲ致シマシタ、ソレデ是ヨリ其修正ニナリマシタ件ヲ申上ゲマスルガ、此八箇ノ修正ノ中、大概皆原案ノ意味ニ少シモ異リマセヌデ、唯文字上ノ修正ニ過ギヌノデス、唯一箇條ダケ實質上ノ修正ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、即チソレハ第二十二章ノ「猥褻姦淫及ヒ重婚ノ罪」デゴザイマス、原案ニハ「猥褻」トアリマス其下ヘ「姦淫」ト二字ヲ加ヘタノデアリマス、現刑法ニモ矢張り此字ガ加ハッテ居リマシテ、此章ノ中ニハ或ハ強姦罪モゴザイマスレバ、或ハ有夫姦モゴザイマス、ソレ等ノゴザイマスルニ拘ラズ、猥褻ト重婚ノ二ツニシテ置イタラバ、姦淫ノ場合ハ含マヌコトニナル、猥褻ト云フ中ニ姦淫モ含ムト云フノハ少シク穩デナイ、併ナガラ原案ノ趣意ハ成ルベク各章ノ標題ヲ短クシタイト云フ趣意カラ致シテ、矢張り猥褻ノ中ニ姦淫ヲモ含マセル積リデアリマシタガ、其意味ヲ明瞭ニスルニハ、矢張り現刑法ノ如ク「姦淫」ト云フ字ヲ加ヘタラ宜カラウト云フノデ、其説ガ多數ニナリマシタ、ソレダケノコトデゴザイマス、ソレカラ第三十六條、第三十七條、第三十八條ニ修正ヲ加ヘマシタ、ソレハ第三十六條ハ二項、第三十七條ハ一項、第三十八條ハ二項デゴザイマスガ、情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除ス」ト原案ニハゴザイマシタ、所ガソレモ其意味ニ於テハ原案ト少シモ違ハナイノデゴザイマスガ、唯「減輕又ハ免除ス」ト云フ、唯「ス」ト云フコトニ決メマスルト餘ホド人ガ解釋ヲ誤ルデアラウ、恐ラクハ滿場ノ諸君モサウ云フ御解釋ガアルダラウト思ヒマス、防衛ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ減輕又ハ免除スルルキカリ言フト、防衛ヲ超エタル行爲ハ必ズ其刑ヲ減輕スルカ、情狀ニ因ッテ減輕スルカ、又ハ免除シナクテハナラヌト恐ラクハ解釋スルデアラウ、所ガ原案ノ趣意ハ矢張り防衛ノ程度ヲ超エタル行爲ハ當然之ヲ罰スルト云フノデ、必ズ免除スル譯デハナイ、ケレドモ情狀ニ因ッテハ減輕又ハ免除スルコトガ出來ルト云フノデゴザイマスカラ、ソレ故ニ即チ裁判官ガ其情狀ニ因リマシテハ假令程度ヲ超エタル行爲デモ或ハ其刑ヲ減輕スルコトモ出來、或ハ免除スルコトモ出來ルト云フノデ、サウシテ見マスルト云フト、矢張り此所ハ「減輕又ハ免除スルコトヲ得」ト云フ方ガ確ニ、サウシテ解釋ヲ誤ルコトガ無イノデゴザイマス、既ニ現行刑法ニモ「情狀ニ因リ」ト云フトキニハ「減輕スルコトヲ得」ト云フカ、情狀ニ因ッテ是ダケハ減輕スルコトガ出來ルト云フヤウニナッテ居リマスルカラシテ、萬一サウ云フ解釋ヲ誤ッテハナラヌト云フ趣意カラ此條ヲ改正イタシマシタ、併ナガラ原案モ情狀ニ因ッテ減輕又ハ免除スルコト云フノデアッテ、當然其行爲ハ罰スルト云フ趣意デゴザイマスレバ、斯ノ如ク修正シテモ唯其趣意ガ明ニ分ルダケノコトデゴザイマスカラ、結局斯ウ云フ修正ニナリマシテ、第三十六條、第三十七條ハ「ス」ト云フ下ヘ「ルコトヲ得」ト云フ字ヲ加ヘマシタ、ソレカラ第四十三條デゴザイマス是ハ實質上ノ改正ヲ委員會ガ加ヘマシタノデゴザイ

マス、是ハ其未遂罪ノ場合デゴザイマスガ、此未遂罪ト云フモノハ、原案デ見マスレバ犯罪ノ實行ニ著手シタダケノ者ハ其刑ヲ減輕ストアリマシテ、未遂罪ト云フモノヲ必ズ是ハ法律上、犯罪ヲ仕遂ゲヌトキニハ減輕ヲシナクテハナラヌト云フコトニ今回ハナッテ出マシタ、然ル所、第十六議會ニ於キマシテ、本院ヲ通過シマシタ案ニハ、矢張り「減輕スルコトヲ得」トナッテ居リマシタ、今回ハ現刑法ニ於キマシテ未遂罪ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ズルト云フコトニナッテ居リマスルカラシテ、ドウモ却ッテ其事ヲ仕遂ゲヌ者ヲ本刑ト同様ノ刑ニ處スルノハ少シク過酷デアラウ、ソレ故ニ矢張り是ハ未遂罪ハ減輕スルト云フコトニナッテ出タノデアリマス、然ル所、未遂罪ト申スモノハ、餘ホド其危險ナ場合ガゴザイマシテ、全ク其本人ガ思フダケノコトハ未遂罪デアッテモ殆ド遂ゲタト云フヤウナ場合ガアル、一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、人ヲ縊リ殺サウト思ッテ縊リ殺シテ見タ所ガ、其後ニ殺シ方ガ惡ルカッタニ依リマシテ或ハ蘇生シタトカ、又ハ人ヲ斬リ殺シテ、サウシテ自分ハ止メヲ刺シタ積リデアル、止メヲ刺シタ所ガ氣管ヲ外レテ居ッテ、アトデ蘇生シタト云フコトモアル、サウ云フ者モゴザイマス、サウ云フ危ブナイ場合ガアル、當人ハ十分ニ仕遂ゲタト思ヒマシタ所ガ、仕遂ゲナイデ、アトデ斯ウ云フ工合ニ蘇生スルナドト云フコトガゴザイマスカラ、サウ云フ者ヲ減輕スルノハ甚ダ穩デナイ、ソレノミナリマセズ現刑法ノ時分ハ減輕ヲシナクテハナラヌト云フ餘ホド已ムヲ得ヌ事情ガアツタ、ソレハナセト申シマスルニ、現行刑法ハ刑ノ範圍ガ誠ニ狭クナッテ居リマス、例ヘテ見マスルト、人ヲ謀殺シタル者ハ死刑ニ處スト云フノデ、死刑ノ一ツデアツタ、或ハ人ノ家屋ニ放火シタル者ハ死刑ニ處スト云フノデ、現行法ニハ唯一刑ニ定メテアリマシタ、ソレ故ニ或ハ此謀殺ノ場合ニ致シテモ、ドウモ其者ガアトデ蘇生シタト云フコトニナリマスレバ、假令自分ハソレマデノコトヲ致シマシテモドウモ其者ガ蘇生シタト云フコトニナレバ、全ク殺シ終ラヌノデアルカラシテ、ソレヲバ死ンデ居ル者ノ刑ガアルト云ッテ其死刑ニ處スルノハドウモ穩デゴザイマセヌカラ、現行法ニハ其未遂罪ヲバ一等又ハ二等ヲ減ズルト云フコトニシテアルト思ヒマスガ、今度ノ刑法ニ此度ノ刑法ノミナラズ、第十六議會ニ出マシテ前ニ通過シマシタ刑法ニモ、矢張り此刑ノ範圍ガ廣クナリマシテ、假令人ヲ殺シ終リマシタ者デモ此改正案デゴザイマスレバ死刑ニ處シテモ無期徒刑ニ處シテモ、或ハ三年以上ノ懲役ニ處スルト云フコトガアリマスカラ、今日ハ

ソレマデニ刑ノ範圍ガ廣クナッテ居リマスカラ、何モ現刑法ノ如ク未遂罪ヲ是非、減ジナクテナラヌト云フ道理ハ無イ、又原則カラ論ジマスレバ、ドウシテモ、著手シテ既ニ行ッテ、ソレダケノモノヲ……自分ノ思フダケノ事ハ仕遂ゲテ居ルガ、ソレガ意外ノコトデ仕遂ゲラヌデアツタト云フモノニ、必ズ法律上カラ之ヲ減ジナケレバナラヌト云フコトハ無イ、ソレ故ニ他ノ國ニモ未遂犯ハ本刑ト同ジヤウニ見テ居ル所ガ段々アル、ソレユエ今回ハ是ダケハ矢張り曩ニ本院ヲ通過シテ居リマス通りニ「減輕スルコトヲ得」ト云フコトニシマシテ、裁判官ノ意見ニ任カスト云フコトニシマシテ、或ハ情狀ニ因リマシタラバ假令懲役ノ三年以上トゴザイマシテモ、ソレヨリ減ジナクテナラヌ場合ガアルカモ知レマセヌカラシテ「減輕スルコトヲ得」ト云フコトニ致シマシタ、ソレノミナリマセズ一體、刑ヲ減輕スト云フコトニナリマス此次ノ中止犯ト云フノト一向權衡ヲ保タナイ、此二項ハ是レハ既遂犯デアリマシテ、二項ノハ中止犯デアリマス、本人ガ其者ヲ殺サウト思ヒマシテ、思ヒマシタケレドモ其場合ニ、モウ一ツデ其者ハ殺シ終ルト云フ場合ニ至ッテ自分カラ致シテ悔悟シマシテ、如何ニモ惡ルイ事ヲシタト自分デ後悔シテ自分自身カラ止メル、悔イテ仕遂ゲナイデ止メルト云フヤウナ場合ハ前ノ既遂犯ト違ヒマスカラ、ドウモ刑ヲ減輕スルトカ免除スルトカ云フコトハ法律上カラ定メネバナラヌ、ソレユエ中止犯ノ方ハ「減輕又ハ免除ス」トナリマスガ、併ナガラ既行犯ノ、既ニ濟マシタノデ自分ハドコマデモヤッタ積リデ居ッタモノガ後ニ仕遂ゲヌト云フ場合ハ、是ハ本來ハ其刑ヲ科スルモノダケレドモ情狀ニ因ッテ裁判官ガ減輕又ハ免除スルト云フコトハ、權衡上サウシナケレバナラヌ、權衡上ニモ不都合ダト云フノデ、斯ノ如ク委員會ハ修正ヲ致シマシタ譯デゴザイマス、ソレカラ百十四條、是モ「情狀ニ因リ其刑ヲ免除ス」トアリマシタノヲ「スルコトヲ得」トシマシタ、是ハ矢張り前ノ例ト同ジ譯デアリマス、ソレカラ二百二條、二百二條ニ「前二條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得」ト是ハ「一年」「二年」ト致シマシタノハ、百十四條ノ放火ノ場合ニ、其豫備犯ヲバ二年ト云フコトニナッテ居リマス、放火ノ方デ二年ト云フコトニナッテ居レバ此方ハ殺人罪デアリマスカラシテ之ト均ク權衡ヲ取リマセヌトナリマセヌカラ權衡上二年ニシ、又百十四條ノ方ニハ但書ガゴザイマシテ情狀ニ因ッテハ其刑ヲ免除スルコトヲ得ト云フコトガアリマスカラシテ、矢張り

百十四條ト權衡ヲ保ツガ爲ニ同ジ修正ヲ加ヘマシタ、是モ何モ意味ニ於テ變
ルコトハ無イノデアリマス、ソレカラ二百十九條デアリマス、二百十九條
ノ二項ニ「自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年
以下ノ懲役ニ處ス」ト云フ一項ヲ委員會加ヘマシタ、是ハ原案ノ趣意ハ
矢張り一項ノ「老者、幼者」トゴザイマスル、即チ責任ノアル者、責任ノアル
者ガ遺棄罪等ヲ犯シマスレバ範圍ガ、三月以上五年マデノ範圍ガゴザイマス
カラ是デ融通ヲ致シ、サウ云フ尊屬親ナドニ對シタ場合ニハ此中カラ重イ刑
ヲ加ヘルト云フ趣意デゴザイマシタガ、委員會ハドウモ他ニ或ハ殺人罪或
ハ傷害罪ナドノ場合ニハ尊屬親ト云フモノハ別ニ刑ヲ設ケテアルカラシテ、
矢張り此遺棄罪ニモ別ニ之ヲ設ケルガ權衡上宜クハナイカト云フコトデ、ソ
レガ多數ニナリマシタ此一項ガ加ハリマシタ譯デゴザイマス、委員會ニ於キ
マシテハ是ダケノ修正ニナッテ居リマスルガ、委員會ニ於キマシテ關君カラ
致シマシタ、此改正案ニ付キマシテ御意見ガアル、就イテハドウゾ委員會外デハ
アルガ規則ニ依ッテ自分ノ意見ヲ述ベタイト云フ請求ガ出マシタ、委員會ハ
其請求ヲ容レマシテ關君ノ發言ヲ許シマシタ、其關君ノ御趣意ハ此修正案ノ
出テ居リマス通り刑法中ニ祖父母、父母ト云フコトヲバ是非加ヘナクテハナ
ラヌト云フ御趣意デアッタ、ソレデ此刑法ハ即チ祖父母、父母ト云フノゴザイ
イマシテ、祖父母父母ニ對スル罪ハ唯今述べマシタ通り特別ニ設ケテゴザイ
マス、所ガ關君ノ說ハ祖父母父母ト云ハヌデハ、直系尊屬ト云フヤウナコト
デハ下等社會ニハ分ラヌ、ソレ故ニ今マデアッタ通り祖父母、父母ト云フ字
ヲ明ニ掲ゲルガ宜イト云フコトデゴザイマス、ソレカラ段々斯ウ云フ修正案
ニ出テ居リマスヤウナ御説ガ出マシタ、ケレドモ委員會ニ於キマシテハ皆御
趣意ハ反對ハ無イ、皆御同感デアアル、全ク祖父母父母ニ對スル罰ハ重クシナ
クチャナラヌ、是ハ日本ノ今ノ慣習上、誰モ刑ヲ輕クシヤウノ、通常ノ人ト
見ヤウノト云フヤウナ者ハ一人モ無イ、御趣意ハ全ク同感デアリマスケレド
モ、今日斯様ナ字ヲバ刑法ヘ掲ゲルト云フコトハ到底出來ナイ、ソレデゴザ
イマスカラシテ委員中一人ト雖モ反對ハ無イ、贊成デハアルケレドモ修正ヲ
出スト云フコトハ今日ハ出來ヌト云フコトデ、ソレデ關君モ凡ソ其邊ハ御分
リニナッテ御出シニナッタモノモ撤回ヲセラレマシテ、實ハ御分リニナッタコ
トダト思ウテ居リマシタ、然ル所豈ニ圖ラムヤ斯ノ如キ修正案ガ出テ居リマ
シテ、實ハ今日見マシテ驚キマシタコトデアアルノデス、ソレデ已ムコトヲ得

ズ本員ハ……斯ノ如キコトハ實ハ餘リ述ベタクナイト存ジマスケレドモ、之
ヲ見マスレバドウモ已ムコトヲ得ズ之ニ對シテ駁撃スル譯デハゴザイマセヌ
ケレドモ、一應ハドウモ申上ゲナクテハナラヌ、一體關君ハ親族例、今日ノコ
トハ一體ドウ云フ御考ニナッテ居ルカ、初メ今日ノ新律綱領以來、現刑法ナ
ドニモ親族例ト云フモノガゴザイマスガ、一體ドウ云フ風ニ御考ヘニナッ
テ居リマスカ、一體此親族ノ關係ト云フモノハ決シテ刑法ナドデ定メルモノ
デハナイ、ドダイ是ハ親族ノ關係ノコトハ、ドウシテモ民法上ノモノデ、民
法カラ出テ來ルモノデアアル、ソレデ新律綱領ノ時分ハ勿論現刑法ニナリマス
ル時分デモ、マダ民法ト云フモノハ日本ニ無イノデス、民法ハゴザイマセヌ
ケレドモ、ドウモ刑法ニ段々親族關係ノコトヲ設ケテ見マスレバ、ドウシテ
モ親族例ト云フヤウナモノニ親族關係法ヲ定メナケレバナラヌ、民法ハアリ
マセヌケレドモ刑法上デ動カナイカラ、ドウシテモ民法ノ出ルマデ假ニ親族
例ト云フモノヲ定メナクテハナラヌデスカラ、現刑法ノ百十四條ト云フモノ
ニ其コトガアリマス、第一番ニソレデ此刑法ニ於テ親族例ト云フコトヲ書イ
タ、其時分ハ餘ホド苦シダ、御存ジモゴザイマセウガ、本員ハ實ハ明治元年
カラ刑法ノコトハシテ居リマシテ、新律綱領ノ前ノ假刑律又新律綱領ノ編纂
ニモ何シテ、又現刑法ニモ何シテ居リマスガ、隨分現刑法ニ於テ親族例ヲ
定メマシタ時分ニモ、新律綱領ヲ定メルトキニモ餘ホド苦シデ、此親族例ハ
民法ガ定マリマセヌカラ據ナク新律綱領ナドニ服忌令ヲ基ニシテ居リマス、
日本ニ服忌令ト云フモノガアル、ソレヲ基ニシテ漸ク拵ヘタ位ノモノデ、現
刑法モ矢張り元ノ新律綱領ニ據リマシタ、ソレデ此刑法ニ於テ親族例ト云フ
モノハ斯ウ云フモノト云フコトヲ假ニ定メタ位デアリマス、所ガ今日ハモウ
民法ト云フモノガ制定ニナリマシテ親族例ト云フモノハ明ニ直系ノ尊屬ト云
フモノハドウ云フモノデアアル、直系ノ卑屬ハドウデアアル、皆親族ノコトガ明
ニナッテ見マスレバ今日刑法上ニ何モ別ニ親族例ヲ掲ゲル必要モナイ、所ガ
今日此修正ヲ見マスルト昔、民法ノ無イ時代ノコトヲバ此所ヘ持ッ來テ矢張
リ親族例ノヤウナコトヲ定メラレルト云フノハ、チットモ本員ハ意ヲ解シナ
イ、ソレノミナラズ此修正ヲ本員カラ駁シマスルト一向、譯ガ分ラヌコトガ
段々アリマス、ソレデ此親族例ヲ掲ゲマシタノニモ祖父母、父母ト云フコト
ニハ第一分ラヌ、サウカト云ッテ刑法上、高祖父母、曾祖父母、祖父母、父母、
サウ長クモ書カレヌカラ先ヅ祖父母、父母ト云フコトニ本條ハアリマスケレ

ドモ祖父母、父母ト言ヘバドウ云フモノデアルカ、或ハ高祖父、曾祖父、或ハ繼父祖母何ミ、子孫ト言ヘバ曾玄孫マデ或ハ外孫マデモ這入ル、今日アノ通り親族例ニハ註釋のモノガ加ヘテアリマス、ソレカラ嫡母ダノ庶子ダノト云フモノハ、ドダイ將來ニナリマシタナラバ無イモノデアルダラウト思ヒマス、ケレドモ今日現刑法ヲ設ケマシタ時分ハ已ムコトヲ得ズ庶子ダノ嫡母ナドト云フコトヲ掲ゲタモノデゴザイマス、ケレドモ是等ハ將來ハ自然ニ無クナルダラウト思ヒマス、マアサウ云フヤウナコトモゴザイマスルシ、又此案デ見マスレバ大變、祖父母父母ハ重イケレドモ外祖父母ハ何トモナイ、外孫ノコトハ掲ゲテアリマセヌ、外祖父母ハ當前ノヤウニ是デハ關君ノ修正デハ譯ガ分ラヌヤウナ所モゴザイマス、其他第二編ノ二百一條ニ「自己又ハ」ト云フ字ガアルガ、ソレヲ削テ直系ノ尊屬……

〔關義臣君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今村田君ノ發言中デアリマス

○村田保君 ソレカラ尙ホ一應、此刑法ノ改正ニ就キマシテ政府カラ刑法改正ト云フモノヲ本院ヘ出シマシタノガ第十五回、第十六回、第十七回ト三年續ケテ出シタモノデゴザイマス、ソレデ其時分ノコトハ諸君ニモ御承知ニナッテ居ルコトハ存ジマスルケレドモ、併シ段々新規ナ御方モゴザイマスルカラ、其時分ノコトヲ略、御參考ノ爲ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、第十五回ニ政府カラ此刑法改正ヲ本院ヘ出サレマシタ時分ハ委員會ニ於キマシテ非常ナ反對ガアリマシタモノデアリマス、其修正案ハ殆ド七回ホドモ委員會ヲ開キマシタケレドモ、其反對ト云フモノハ到底此議院ノ通過ハ覺束ナイ位ナ反對ガゴザイマシテ、遂ニ委員會デハソレヲ握潰シテ仕舞ッタノデス、ソレヲ第十六回ニナリマシテ政府ガ更ニ政府部内デ委員ヲ設ケテ調査ヲシマシテ、サウシテ更ニ十六回ニ本院ヘ提出ニナリマシタ、其時分ノ委員會ニ於キマシテハ中ミマダ反對ノ意見ガゴザイマシタガ、丁度其時分ノ委員會ハ十三回モ會合ヲ致シ、遂ニ其修正ヲ三十箇條ホド加ヘマシテ、サウ致シテ十六回ハ本院ガ通過ヲ致シタノデアリマス、通過ヲ致シテ衆議院ノ方ヘ回送ニナリマシタ、所ガ衆議院ノ委員會ノ模様ヲ見マスルノニ衆議院ニ於キマシテハ中ミ反對ガゴザイマシテ、容易ニ委員會ノ通過ガナリマセズ、遂ニ衆議院デモ本院カラ回リマシタ修正案ト云フモノヲ十六回ニハ握潰シテ仕舞ッタデス、ソレカラ十七回ニ於キマシテ政府ガ更ニ本院ヘ十六回ニ本院ノ修正ニナリマ

シタモノヲバ其儘更ニ十七回ニ提出ニナリマシタ、然ル所、其際十七回ハ不幸ニシテ解散ニナリマシタモノユエ、ソレギリニナッテ仕舞ヒマシタ、然ル所今同ハ昨年ノ六月初メヨリ致シテ十二月末マデ政府デ委員ヲ設ケマシテ十六回ニ本院デ通過ヲ致シマシタ案ヲ原案ト致シテ十分ナル調査ヲ致シタノデス、サウ致シテソレガ即チ本會ヘ提出ニナリマシタ故ニ委員會モ誠ニ短期日四回クラ非デ容易ニ之ヲ通過シ、且又先ホド述べマシタル通り委員諸君ガ熱心ニ通過ヲ望マレマシタ、故ニスノ如ク容易ニ議了イタシマシタ譯デゴザイマス、ソレト云フノガ畢竟、今回ノ原案ハ前ノヨリモ數等宜クナッテ居ルト云フコトハ之ヲ以テモ證スルニ足ララウト存ジマス、ソレ故ドウゾ滿場ノ諸君ニ於カレマシテモ速ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○關義臣君 委員長ニ尋ネタウゴザイマスガ、唯今ノ委員長ノ報告ニハ「直系尊屬」ト云フノヲ「祖父母、父母」ト名稱ヲ變ヘルダケノ御報告ニナッテ居ル、本員ガ委員會ニ於キマシテ三十八條ノ趣旨ニ依ッテ申上ゲマシタノハ祖父母、父母ニ對スル罪ノ正條ヲ存スルガ趣意デアリマス、其精神デアリマス、其正條ガ是マデアッタノガ此度削ラレルノハ甚ダ殘念デアアル、其正條ヲ存シテ置キタイ、就イテハ「祖父母、父母」ト云ヘバ人ノ習慣レタ文字デモアリ、名稱デアアル、ソレガ「直系尊屬」ト云フコトニナッテハ甚ダ人民ニ感ジガ薄イ故ニ「直系尊屬」トスルヨリハ「祖父母、父母」ト云フ文字ヲ存シテ置キタイト云フノデ、第一、祖父母、父母ニ對スル罪ノ正條ヲ存シタイト云フ趣意デアアルコトハ委員會ノ諸君ハ御承知ノ等デアアル、所ガ唯今村田君ノ報告ハ「祖父母、父母」ト字ヲ變ヘルト云フダケノ御報告ニナリマシタカラ、少シ間違デアリマスカラ申上ゲテ置キマス

○村田保君 ソレハサウデハアリマセヌ、アナタノ方ガ聽達デス

○男爵伊達宗敦君 チョット政府委員ニ御説明ヲ煩ハシタク思ヒマス、私ハ村田君ノ如キ法律家デアリマセヌカラ刑法ナドニハ解シ難イコトガ澤山アリマスガ、其中茲ニ一ツ御尋シタイコトガアル、ソレハ改正法ノ三十六條、ソレニ「急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス」其次ニ「防衛ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其刑ヲ輕減又ハ免除ス」是ハ委員會デ「免除スルコトヲ得」ト修正ニナッタ、ソレデ此三十六條ト云フモノハ謂ハバ正當防禦ノ場合カト素人ノ私ナドハ考ヘマスガ、ソコデ現行法ノ三百十四條ニ「身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ム

コトヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニス
ルヲ分タス其罪ヲ論セス」ト云フコトガアル、其次ノ三百十五條ニ至ッテ「一」
「二」「三」ト云フモノガ擧ゲテアル、例ヘバ「財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス
者ヲ防止スルニ出タル時」ソレカラ「盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タ
ル時」ソレカラ「三」ニ行ッテ「夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門
戸墻壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時」ト云フヤウナコトガアル、ソ
レデ現行法デアルト是ノコトデ人ヲ殺傷シタル場合ハ則チ宥恕及不論罪ノ中
ニ這入ル、今日ノ改正案デアルト最初ニ讀シテ三十六條ノ「急迫不正ノ侵害」
斯ウ云フコトガ現行法ノ即チ三百十四條ニ當ルデハナイカト思ヒマス、若シ
サウシマスルト此三十六條ト云フモノノ中ニ唯今私ガ述べタ三百十五條中ニ
左ニ掲ゲテアルト云フ「一」「二」「三」ト云フモノハ無論含マレテ居ルト私ハ
考ヘマスガ、含マレテ居ルケレドモ併シ斯ノ如ク明記シテ無イノデアルカ
ラ、謂ハバ裁判官ノ考ヲ以テ即チ現行法ノ夜間故ナク邸宅ニ入ッタトカ或ハ
財産ニ對シテ放火シタルカ認メルトキハ不論罪、即チ罪ヲ論ゼスト云フコト
ニナル、即チ總テノ事ヲ裁判官ニ委ス、斯ウ云フコトニナル、サウシテ現行
法ヨリハ「急迫不正ノ侵害ニ對シ」ト云フト餘ホド範圍ガ廣クナル、例ヘテ言
フナラバ現行法ノハ財産ニ對シ放火シタルカ或ハ墻ヲ踰エテ這入ッタトカ云
フヤウナモノバカリニ、チヤント決ッテ居ルヤウニナッテ居ルケレドモ、改正
案デ見ルト其他ニモ……詰リ權利ヲ防衛スルト云フノデアルカラ總テノ權利
ヲ指シテ居ルト斯ウ云フヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレデ少シヲカシナ
間デアリマスガ、例ヲ取レバ私ノ宅ニ賊ガ這入ッタト假定シテ其賊ト云フモ
ノハ今日ノ現行法デアレバ「夜間故ナク」ト云フコトガアルガ、ソレガ今度ノ
改正法ニハ無イ、サウスルト其賊ガ果シテ懷中ニ短刀或ハ短銃ノ如キモノヲ
持ッテ居ルカ、ソレハ分ラヌノデアル、然ルニソレヲ押ヘルトカ、何者ダト答
メタトカ云フ場合ニ兇器ヲ出スコトガ往々アル、サウ云フ場合ニハ賊ナリト
見レバ刀ヲ持ッテ斬ルトカ或ハコチラモ防衛的ニ短銃ヲ以テ之ヲ射殺スル場
合、是モ三十六條ノ「急迫不正ノ侵害ニ對シ」ト云フ中ニ籠リマスルカ、或ハ
初カラ賊ガ兇器ヲ持ッテ居ルト云フコトガ明ニ分ッテ居ナイ懷中ノ中ニ有ルカ
無イカ分ラヌト云フ場合ニハ急迫不正ノ侵害ト認メル譯ニイカナイノデアル
カ、私ハ法律ノコトニハ誠ニ素人デアリマスカラ、ドウカ分ルヤウニ御説明
ヲ願ヒマス

「政府委員倉富勇三郎君演壇ニ登ル」

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、刑法改正案ノ
第三十六條ノ趣意ハ唯今御述ベニナリマシタ通り、大略ヲ申シマスレバ現行
刑法ノ第三百十四條、又第三百十五條ニ相當スル規定デアルノデス、現行刑
法ニ於キマシテハ三百十四條ニ於テ「身體生命ヲ正當ニ防衛シ」ト云フコトニ
ナッテ居リマス、三百十四條ニ規定スル所ハ身體生命ニ對スル危害ノ防衛デ
アル、ソレカラ三百十五條ニ規定シテ居リマスル所ハ唯今御述ベニナリマシ
タ通り多ク財産ニ對スル危害ノ防衛ノ規定デアルノデゴザイマス、斯ノ如キ
規定ガ餘リ場合ヲ限定シテアル爲ニ漏レル懸念ガアルノデゴザイマス、此事
ニ就イテハ年來、此刑法施行ノ後ニ規定ノ不備ナルト云フ非難ガ絶エナカッタ
ノデゴザイマスカラ、此改正案ニ於キマシテハ身體生命トカ或ハ財産トカ云
フ範圍ヲ限リマセズ、總テ一切ノ權利ヲ網羅スル爲ニ「自己又ハ他人ノ權利
ヲ防衛スル爲メ」ト云フコトニ汎博ニ規定イタシマシテ、現行刑法ノ如ク單
ニ殺傷ニ對スル不論罪ト致サズ、刑法總則ノ中ニ此規定ヲ設ケタ譯デアリマ
ス、ソレデ最終ニ御述ベニナリマシタ事例、例ヘバ竊盜ガ這入ッテ來タ、其竊
盜ガ兇器ヲ持ッテ居ルヤ否ヤト云フコトガ被害者ノ方ニ分ラナイ場合ニ、果シ
テソレガ急迫不正ノ侵害カドウカト云フコトハ、是ハ全クモウ事實上ノ問題
ニナリマスルコトデ、其狀況如何ニ依ッテ裁判所ガ此場合ナラバ是ハ急迫不
正ノ侵害ニ對スル防衛デアル、此場合ナラバ或ハ第二項ノ防衛ノ程度ヲ超エ
タル行爲デアルト云フコトヲ判定シマシテ規定ヲ適用スルコトニナルノデア
リマスカラシテ、單純ニ茲デ兇器ヲ持タナイ竊盜ガアッテ、ソレヲ殺シタナラ
バ如何デアルカト云フコトハ其狀況ニ依ッテ異ナル問題デゴザイマスカラ、一
概ニ御答ハ出來ナイト思ヒマス、要スルニ此規定ハ廣ク正當防衛ノ權利ヲ認
メタ規定デアリマスカラ、其コトニ御解釋ヲ願ヒタイ

○男爵伊達宗敦君 能ク分リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言モゴザイマセスカラ採決ヲ致シマス、
本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○村田保君 直チニドウゾ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

「贊成」ト呼ブ者アリ

○男爵千家尊福君 此法案ハ大分條項モ多ウゴザイマシテ、委員長ノ報告ヲ本月初メテ承ツタヤウナ次第デアリマスカラ、成規ノ日數ヲ置イテ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

〔男爵岡内重俊君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 岡内男爵ハ村田君ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御同意……

○男爵岡内重俊君 村田君ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ同意デアリマス、其理由ハ此特別委員ノ修正モ少クゴザイマシテ、且ツ本案ハ随分十七議會ニ通過イタシマシタノト餘リ違ヒモ致シマセヌ、成ルベク直チニ二讀會ニ移ッテ逐條審議ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス、故ニ村田君ノ説ヲ贊成シマス

〔男爵西五辻文仲君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 西五辻男爵ハ……

○男爵西五辻文仲君 千家男爵ノ成規ノ日數ヲ置イテ開クト云フコトニ贊成シマス

○議長(公爵德川家達君) 千家男爵ノ動議ハ贊成者ヲ要シマセヌ

○奥山政敬君 村田君ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ説ニ贊成シマス

○議長(公爵德川家達君) 村田君ノ直チニ二讀會ヲ開クベシトスル説ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 多數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ直チニ第二讀會ヲ開キマス、諸君ニ御諮リヲシマスガ……

〔關義臣君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 關君ハ何デスカ

○關義臣君 修正案ノ意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔關義臣君演壇ニ登ル〕

○男爵伊達宗敦君 チョット私ハ關君ニ申シタイコトガアリマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今、關君ニ登壇ヲ許シマシタ、願ハクハ關君ガ御述ベニナリマシタ後トニ願ヒタイ

○關義臣君 諸君、私ハ此改正刑法案ニ修正ノ意見ヲ有ッテ居リマス爲ニ演臺ヲ讀スコトニナリマシタガ、御承知ノ通り甚ダ不辯デアルデ御聞キニクウアリマセウガ暫ク御清聴ヲ願フ積リデアリマス、先刻委員長ヨリ報告ニナリマシテ委員會デ本員ノ申シタコトト違ワタルコトヲ……先刻議長ノ許可ヲ得マシテ委員長ニ間違ウタコトヲ申上ゲテ置キマシタ、甚ダ委員長ハ攻撃ラシイ御言葉デ誠ニ恐縮イタシマシタ、實際決シテ其「尊屬直系」ノ四字ト「祖父母、父母」ト變ル五字ダケノ交換方デハ無イデアリマス、ドウゾ此度茲ニ修正案ヲ出シマシテ、諸君ノ御手許ニ既ニ回ッテアラウト思ヒマス、之ヲ御覽ヲ下サレバ先刻ノ委員長ノ報告ハ間違ヒデアリマスカラ是ダケ御斷リ申シテ置マス、私ハ此刑法改正案ニハ大體贊成ノ一人デアリマス、マア贊成スル以上ハドウゾ原案ノ儘デ一項一字モ修正ノ意見ヲ呈セヌ覺悟デ居リマシタガ、段々此改正案ヲ調べテ見マスレバ、最モ其大切ナル……極端デ言ヘバ一體、日本國體ニモ關係スルホドノ正條ガ……即チ其祖父母ニ對スル罪ノ正條ガ除カレテアリマス、甚ダ私ハ遺憾ニ堪ヘナイ譯デアリマス、依ッテ修正ノ意見ヲ出シマシタガ、ソレニ就キマシテ其理由ヲ述ベマスガ、抑、不孝ノ罪ホド御承知ノ通り大逆罪ハ無イ、天地ニ二ツト無イモノデアアル、天人俱ニ不孝ノ罪ト云フモノハ容レルコトハ出來ナイノデアアル、孔夫子ノ言ウタコトヲ持ッテ來テハ御笑ヒノ方ガアルカモ知レスケレドモ、五刑ノ屬三千、罪不孝ヨリ大ナルハナシト云フコトガアル、決シテ其漢土ノ眞似ヲ帝國デスル譯デハナイガ、固ヨリ我國ハ歴史以來、此不孝ノ罪ト云フモノハ極刑ニ處シテ來タノデアアル、國體上ニ關シ是非、重刑ニ處セザルベカラザル所以ガアルノデアリマス、即チ王政ノ昔ノ時代ハ勿論、武門ノ時代ニナリマシテカラム……尤モ頼朝以後戰國ノ時代ハ少シ史ヲ缺キマシテ審カナリマセヌガ、北條時代ニナリマシテモ不孝ノ罪ハ矢張り極刑ニ處シタコトハ明ニ分ッテ居ル、又德川家ガ天下ヲ一統セラレマシテカラ律例モ皆共ニ具ッテ參リマシタ、不孝ノ罪即チ親ヲ殺シタ罪ハ最モ重イ磔罪ニ處シタ、即チ「ハツケ」ニシタ、ソレヲ三百諸侯モ德川家ノ法令ヲ遵奉シテ其藩内ノ不孝者ト云フモノハ悉ク皆磔刑ト云フ重イ罪ニ處シタノデアアル、固ヨリ年ヲ取ッテ居ラシヤル諸君ハ當時ノ有様ハ能ク御承知ト信ジマスルガ、王政維新ノ後モ明治二年マデハ親殺シノ罪

ト云フ不孝罪ハ謂ハユル磔罪デアル「ハツケ」ト云フ罪ニシタノデアル、チ
ヨット申上ゲマスガ明治元年六七月頃、不孝ノ罪ハ勅裁ヲ經ヨット云フ行政官
ノ達ニナリマシテ、當時私ドモハ地方官デ居リマシテ、不孝即チ親殺シノ罪ガ
河内ノ者ニアリマシテ、明治二年ノ春デゴザイマシタガ、矢張り行政官ニ伺
出マシタ、伺ッテ見ルト行政官カラ大キナ大奉書ニ親殺シ不孝ノ罪某ト云フ
大變ナ大キイ勅裁ノ二字ヲ書イテ磔ト云フ矢張り「ハツケ」ト云フナニヲ書
イテ下ガリマシタ、ソレヲ以テ實行シタ位ノ事デアリマスガ、明治二年、三
年頃ニナリマス、此不孝ノ罪ニシテモ殺ス以上ハ同シデハナイカ、之ヲ「ハ
ツケ」ニシテ凡ソ一時間カラ手間取ッテ、手足ヲ釘付ニシテソレカラ槍ヲ以テ
横膈ヲ三本ヅツモ刺ス、ソレカラアトカラ耳ヲ刺スナント云フ一時間モ二時
間モ苦メル必要ハ無イノデアル、打首、今日ハ打首デハ分ラナイ方モアリマ
セウケレドモ斬罪、斬罪ニシテ仕舞ヘ、サウスレバ一分間デ出來ル、殺ス以上
ハ殺スニマデ長クカカッテ其罪人ヲ苦メテ何ノ益ガアルカ、何ノ影響モ無イト
云フヤウナ論ガ起ッテ、ソレデ明治三年ノ冬、新律綱領ヲ發布セラレマシタノ
ニハ此磔罪ヲ除カレ、ソレカラ火炙リモ除カレタ、古ハ放火罪、人ノ家ニ火
ヲ附ケタ者ハ火炙リデ殺シタモノ、是亦長イ時間ヲ掛ッテ死人ヲ苦メル、ソレ
ニモ及ブマイト云フノデ、右申上ゲマシタ通りト同ジコトデ、新律綱領ニハ
磔罪ト火炙罪ヲ除カレタ、是ハチヨット餘計ナコトデアリマスケレドモ、重イ
刑デアッタダケノ刑ヲ申上ゲテ置クノデアリマス、今日ハ磔罪デナシニ普通
ノ死罪ニナッテ居マスカラ、何ノ爲ニサウ變ッタカ、不孝ノ罪ヲ惡ムコトガ薄ウ
ナッテ普通ノ死罪ニナッテ來タト云フ御疑ヒハアルマイケレドモ、決シテサウ
云フ譯デハナイ、殺ス以上ニ苦メテ殺スノモ速ニ殺シテ仕舞フモ同ジコトデ
アルト云フコトカラ來タノデアリマスカラ、此コトハ御斷リヲシテ置キマ
ス、ナゼ父母ニ對スル不孝ノ罪ヲ斯ノ如ク極刑ニ處セヌナラヌカト言ヘバ最
モ大切ナル理由ガアルコトデアル、諸君モ御承知ノ通り父母ハ我が身ノ天地
デアル、大倫上嚴刑ニ處スルコトハ當リ前ノミナラズ、不孝ノ如キハ我が國
體上ニ大ナル關係ヲ持ッテ居ルコトデアル、即チ我が國體ハ忠孝トニ淵源
シ來リマシテ、此忠孝ノ良民族ガ天日嗣天皇ノ神勅ヲ奉ジテ大八洲ノ大倭國
ヲ造リ成シテ來タコトデアル、歷史上御承知ノコトデアル、現ニ神武天皇御
即位ノ四年ニ皇祖天神ヲ祀ラレタ詔ノ中ニモ大孝ヲ申ブベシト云フ詔デアリ
マス、此日本ノ忠孝トノコトニ至ッテハ決シテ支那ノ傳來物デハナイ、支那

カラ書物ノ這入ラヌ應神天皇以前カラ孝ノ道ハ唱ヘラレテアッタノデアル、尤
モ此孝ノ道ハ我國ノ固有デ、我國固有ノ性質デアル、即チ國質ガ忠孝ハ持前
デアルト申シテ宜カラウト思フ位デアル、即チ孝ト忠トヲ以テ造ラレテアル
國デアリマス、又忠ノ本ハ孝デアル、諸君御承知ノ如ク孝ハ百行ノ本デ、孝
ノ心ヲ以テ國ニ盡セバ忠トナリ、孝ノ心ヲ以テ朋友ニ交レバ信トナリ、孝ノ
心ヲ以テ官ニ事フレバ敬トナリ、孝ノ心ヲ以テ民ニ臨メバ仁トナリ、孝ノ心
ヲ以テ敵ニ臨メバ勇トナル、是ハ即チ本員ガ申上ゲズトモ古書ニ見エルコト
ハ御承知ノコト、思ヒマス、ソレ故ニ昔ハ明王ハ孝ヲ以テ天下ヲ治ムトモア
ル、又孝ニハ五ツアル、謂ハユル德教百姓ニ加ハリ四海ニ則ルモノヲ天子ノ
孝ナリト云フコトガアル、御承知ノ如ク歷代ノ天皇ハ孝道ヲ普ク獎勵遊バシ
テ孝子ノ門ヲ旌表ス、又順孝者ニ戸租ヲ免ジテ其門ニ旌表スト云フヤウナコ
トハ歷史上絶エズ見エテアル、即チ彼ノ清和天皇ガ孝經ヲ夙ニ御讀ミニナッ
テ後以テ朝廷ノ恒例トスルト云フコトモアル、又孝謙天皇ハ詔シテ天下家毎
ニ孝經一本ヲ藏メテ之ヲ漏レナク讀マシテ孝ヲ獎勵セヨト云フ既ニ詔モ出
タコトガアル、令義解ノ戸令ノ八ノ卷ニハ順孝ノ者ヲ朝廷ニ舉ゲルト云フ位
ナ例ニナッテ居ル、王代ハ素ヨリ大政ノ武門ニ遷リマシテカラ戰國中ハドウ
モ史ガ詳ニアリマセヌカラ委シキコトハ分リマセヌガ、徳川幕府ノ時ニナリ
マシテハ始終、孝子ヲ賞揚セラレタコトデアル、諸藩モ之ニ法リマシテ其領
内ノ孝子ト云フモノヲ賞揚シ來タト云フコトハモウ各藩ニ於テ年々絶エナ
イ位デアル、ドウデアルカ、教育勅語、孝ノコトヲ勅語デ仰セラレテアルノ
デ、御承知ノ通り「臣民克ク忠ニ克ク孝ニ」云々、「此レ我カ國體ノ精華ニシ
テ」云々ト宣ハッテ居ル、又將來ノコトヲ仰セラレタニハ「爾臣民父母ニ孝ニ」
ト云フ御言葉モアリマス、神武天皇ヨリ今上天皇ニ至ル二千五百年ノ間、實
ニコノ始終、孝ノ道ヲ以テ一貫シ來タル國是デアル、御承知ノ如ク古人ノ
言ウタ未ダ父母ニ孝ナラズシテ而シテ君ニ忠ナル者アルヲ見ザルナリ、誠ニ
感心シタ言葉ト思ヒマス、要スル所輒近コノ王政維新ノ大業ノ出來タノモ、
又日清戰爭ノ如キ近ク日露戰爭ノ如キ好結果ヲ得タノモ素ヨリ天皇陛下ノ御
稜威ニ因ルコトハ當リ前ト雖モ、是レ皆國民ガ總テ忠孝ニ成立ッテ來タ效果
デアルト云フコトハ諸君ト共ニ信ジテ疑ハヌ所デゴザル、斯ノ如ク孝道ハ大
切ニシテ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルガ爲ニ父母ヲ殺ス、父母ヲ傷害スル、父母
ヲ監禁スル如キコトハ決シテ一モアル筈デナイ、萬一アッタトキハ此罪ハ假

借セズ嚴刑ニ處セヌナラヌノデアル、又將來不孝ノ者ナキヲ保チ難シ、仍テ嚴刑ニ處シテ將來ヲ懲戒スルノデアル、故ニ現行法律ト云フモノハ能ク古典ニ鑑ミテ殊ニ祖父母、父母ニ對スル正條ヲ設ケラレテアル、刑法ノ如キハ民法又ハ商法ナドトハ一層違ヒマシテ人民ニ直接ニ心得サシテ置カナケレバナラヌノデアル、少シ當リガ違フヤウナケレドモ、教ヘザルノ民ヲ殺スコトハ出來ヌト云フコトハ古ヘ明王ノ每度言ハレタルコトデアル、御承知ノ如ク北條氏ハ恐レ多クモ皇室ニハ背イタガ、民ヲ治ムル上ニ於テハ十分ニ手ガ届イテ居タノデアル、條目ヲ五箇條書イテ、大手門トカ人ノ往來ノ辻トカ云フ所ニハ制札ヲ立テテ、不孝ナル者ハ、親ヲ殺スコトカ云フ者ハ、總テ親ニ不孝ナル者ハ嚴刑ニ處スルト云フコトヲ書イテ、其他條目ハ五六箇條アリマシタガ、ソレヲ以テ民ニ知ラシテ置イタノデアル、親ニ不孝ヲシタカラト云ツテ教ヘザルノ民ヲ殺スコトハ出來ヌト云フヤウナ筆法デアリマス、徳川幕府ニナリマシテハ年ヲ召シテ居ル諸君ハ御承知ノコトデアル、此江戸府下ニ於キマシテモ日本橋、淺草見付、昌平見付、新宿ノ大木戸、高輪ノ大辻、是等ニハ御制札場ト申シテ、親ニ不孝ナル者、人ノ物ヲ盜ミタル者、人ノ家ニ火ヲ附ケル者、右ハ重イ科ニ仰付ケラレルモノ也、或ハ又別ニ條目ヲ書イテ人ト徒黨シテ惡事ヲ爲ス者、切支丹宗門ヲ信ズル者ハ嚴刑ニ仰付ケラレルモノ也トシテ人ノ見易イ所ヘ立テテ即チ御制札場ト云ウタノデアル、諸藩モ徳川幕府ノ命令ヲ受ケテ其城下ハ勿論少シク人ノ群集スル場所ニハ此制札ヲ立テタノデアル、尤モ文面ハ多少變ツテ居ルヤウデアルガ、不孝者ハ重イ罪ニ處スルゾ、ト云フコトハ十分ニ分ルヤウニシテアッタ、東海道六十三：五十三驛、是ニモ悉ク制札ガ立テテアッタ、其他五畿七道ノ驛場ニハ悉ク制札ヲ立テ、置イタ、幕府ニ於テハ不孝者ハ嚴刑ニ處スルト云フコトヲ人民ニ知ラシテ置イタノデアル、是ハ誠ニ結構ナコトデ、今申上ゲマス通り民ヲシテ不孝ヲスレバ嚴刑、恐ロシキ罪ニ處セラレルカラ不孝ヲシテハナラヌゾト知ラシメ、一面ニハ將來ハ親ニハ孝行セヌナラヌモノデアルト云フ意味ヲ持タシテ置イタノデアル、ソレダケノ心ヲ民ニ懷カシムルノデアル、此制札場ト云フモノハ謂ハユル御老人ノ御方ハ御承知デゴザイマセウガ、明治元年三四月頃ニ太政官ヨリノ達デ舊政府ノ禁制ハ無用ニ屬シタカラ、制札場ハ取拂ヘト云フ命令ニナリマシテ、今日ハモウ無イノデアル、併ナガラ所々制札場デアッタ札ノ辻トカ云フ名ハ殘ッテ居リマス、兎角舊幕時代ノ事ハイケナイヤウナコト

ニナリマシタケレドモ、御留川ナドト云ウテ其川デ魚ヲ取ルコトハナラヌ、或ハ御立山ダカラ木ヲ伐ルコトハナラヌ、立入ルコトハナラヌ、此川ハ何所カラ何所マデ御留川デアルカラ網ヲ入レルコトハナラヌトカ、マア諸君モ御承知ノ京都ヘ行クト御禁領ト云ウテ天子様ノ御領地デアルト云フコトヲ人民ニ知ラセテ置イテ、ソレニ侵シ入レバ大ニ罰スルノデアル、ソレデ前ニ立返リマスガ、一體法律ヲ知ラザルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スコトヲ得ズト云フコトハ今日ノ刑法ニモ出テ居ル、是ハ最モ刑法ニ必要デアル、下等社會ノ匹夫匹婦マデモ刑法ハ心得テ居ラヌナラヌノデアル、即チ人民ニ分リ易イヤウニ現行刑法ノ祖父母、父母ニ對スル罪ト云フ正條ヲ擧ゲテ置クノト、ソレカラ此度ノ改正法案ノ其正條ナシニ普通ノ條項中ニ直系尊屬トシテ置クノト、合セテ比較シタラドウダラウ、人民ノ注意ヲ惹起ス上ニ於テ大ニ違ガアルコトデアル、祖父母、父母ニ對スル正條ガアレバ誰人モ讀ンデ注意ヲ起シ易イ、唯普通ノ條項中ニ直系尊屬デ是ガ民法ノ定規ノ文字ダカラト云ウテ讀ンデ行ク人ガツイ注意ヲ惹起スニ甚ダ難イ、中等以上ノ人ハ直系尊屬ト云フコトハ分ラヌコトハナイガ、併ナガラ下等ノ愚夫愚婦ニ至ッテハ是マデ聞慣レズ耳ニ慣レヌ言葉デアアル、耳ニ慣レヌ名稱デアラバ極メテ注意モ喚起スニムツカシイノデアル、刑法ノ如キ法律ハ文字ガ人民ニ便利ナノガ最モ宜シイノデアル、普通人民ノ耳ニハ直系尊屬ト云フ名ヲ擧ゲタ所ガ分ラヌ、決シテサウ云フモノヲ用ウル必要ハ無イト思フ、何レマア本員ニ反對ノ説デハ民法ニ所謂直系尊屬ト親族例ニ決ッテ居レバ刑法ニモ直系尊屬ノ意ヲ用弗テ刑法モ民法モ違ハヌヤウニシタイト云フノデアリマセウ、ソレハ全クサウデゴザイマセウガ、一體法律語ハ此語ヲ用弗ヌナラヌト云フ斯様ナ定規ハ無イカト思ハレマスガ、或ハ本員ノ知ラヌノカモ知レマセウガ、タシカ無イヤウニ思ヒマス、往年ノ新律綱領ガ出來タ時分ニハ諸君モ御承知ノ通り謂ハユル明律清律ノ字ガ這入ッテ來テ法律ノ字ガ多ウゴザイマシタ、併シ現行刑法、十五年一月一日ヨリ實施ノ此刑法ハ隨意ニ字ヲ入レテアル、決シテ是ガ法律語デナイ、然ルニモ拘ラズ此度ノ改正法ニハ是ハ民法ノ規定デアルカラ直系尊屬ヲ入レヌナラヌト云フ趣意ハ宜シウゴザイマセウガ、何モ法律デ入レヌナラヌノデハアリマスマイ、又サウ云フムツカシイコトヲ入レヌデモ人民ガ知リ易イノデ宜イ、刑法ナドハ今日マデ民法ガ行ハレテ居ルニ拘ハラズ現行刑法ハ祖父母、父母ノ分リ易イ字デ行ハレ來テ居ル、何モソレデ差支ナイ、

刑法ハ刑法デ歩イテ來テ居リ民法ハ民法デ歩イテ來テ居ルノデアル、ドウモ此祖父母、父母ニ對スル罪ナドト云フ法律ハ、日本以外ノ國ニハ、ナカク傲ウテモ出來ナイ法律デアル、實ニ國ト共ニ盛衰ヲセヌナラヌ日本國千萬年傳ヘニヤナラス、トコロガ民法ニ直系尊屬ト定メテアル以上ハ刑法ニモ祖父母父母ノ字ヲ用ウルコトハイケヌトカ、此正條ヲ法文トシタナラバ全體ニ差響クトカ云フコトハソレハ生ジマセウ、ケレドモ其事項ヤ忠孝立タヌ、デ此大切ナルトコロノ國粹ナル祖父母父母ニ對スル正條ヲ掲ゲテ置カヌト云フコトハ肝腎ノ精神ヲ失ウテ仕舞ッテ如何ニモ残念デアリマス、是ハ如何ナル意味ニ取ツタモノカ、甚ダ本員ハ心外ニ堪ヘナイ、御承知ノ如ク是モ以前ノ例デ毒蠅ニ指ヲ一本刺サレテ此毒ガ滿身ニ回ルカラ、僅ナコトデアアルカラ指一本切レ、所ガ本人言フニハ孝經ニアッテハ身體髮膚、之ヲ父母ニ受ク敢テ毀傷セザルハ孝ノ始トアルカラ、指一本切ッテモ親ニ不孝デアアルカラ指ヲ切ラヌ、ソレデハ滿身ニ毒ガ回ルト言ッテモ切ラヌ、所ガ滿身ニ毒ガ回ッテ死ンダ、僅カ一本ノ指ノ爲ニ身體ヲ損スルト云フノハ不孝デアアル、ソレハ間違ヒ、ドウモ此直系尊屬ヲ掲ゲテ置クト此大切ナル身體ヲ失ッテ仕舞ッテ、二千五百年コノカタ始メテ此法律ノ正條ヲ失ッテ仕舞フ話デアアル、嫂ノ手ヲ取ルコトハ禮デナイト言ッテ嫂ガ河ニ溺レテ土左衛門ニナルノヲ禮デナイト言ッテ嫂ノ手ヲ引カヌト云フ話デ、チヨットシタコトデ此大ナル本尊ヲ失ッテ仕舞フコトハ甚ダ残念ナコトデアアル、ドウモ此原案賛成ノ御方ハ謂ハユル其裁判官ガ刑ヲ擬スル上ニ於テ此方ノ改正法案ト舊刑法ト變リハ無イ、畢竟文字ガ變ッタダケデ意ハ異ナラヌト云フ說デアリマセウガ、併シ刑ノ上モ變ッテ私ハ祖父母、父母ヲ殺シタニ付イテハ決シテ宥恕ハ出來ナイ、私ノ案デハ死刑トナル、所ガ新法ニハ無期懲役ト云フ條ガ出來テ居ル、サウ云フヤウニ拵ヘタ精神ハ親ニ至ッテハ本員ハ解セナイ、謀殺故殺デ親ヲ殺シタ、今日ハ謀殺故殺ノ字ハ無イガ、親ヲ殺シタ、祖父母、父母ヲ殺シタトモ宥恕ガ出來ルガ、是ハ甚ダ怪シイ、尤モ其立派ナ法學博士ナドガ段々編纂ニナッタモノデアアルカラ、色々法律ノ上ニ御氣ガ付カレテゴザイマセウケレドモ、甚ダ大言ニ屬シテ失敬カ存ジマセヌガ、ドウモ日本ニ生レテ國體ト云フコトノ觀念ガツイ薄クハ無イカト思フ位デアアル、甚ダ本員ハ心外デアアル、近年少年ノ人ガ歐羅巴ニデモ行カレテ耳學問、目學問デ、親ノ胎内ニ宿ッテ居ル間ハ親デアアル、親ヲ離レタ上ハ親モ人ナリ、普通ノ人デアアル、唯之ヲ養フノハ義務デアアル云々

ト言ッテ歸ッタ人モアル、或ハ又親ヲ末ニ見テ拜妻主義デ、オカミサンヲ一番ニ貴ンデ、是ハ君ニモ父ニモナイ貴イモノトシテ、其次ハ未丁年ノ子供、父母ト云フ者ハ第三以下ニ落シテ仕舞ッテ置イテ、一向有レドモ無キガ如ク普通ノ人ニ對スル氣味ガアル、サウ云フヤウナコトガ萬ガ一移ッテ來テ此美質ヲ破ルコトニナッタラバ如何デアアル、實ニ心配ナコトデアリマス、ドウモ本員ノ意見ニ反對ノ諸君ト結果ハ同ジコトデアルト云フノハドウデアリマセウカ、裁判官ガ裁判シテモ結果ハ同ジト云フコトデ、唯其死罪デ親殺シヲ死刑ニスルノト、宥恕シテ無期徒刑ニスルト云フ違ヒデアリマセウガ、全體ノ見込ガ違フ、サウ云フ譯デナイノデアアル、ソコデ現刑法ニ本員ガ主張スル正條ヲ存シテ置イタ所ガ、格別ナコトハ無イト云フ論ガアルカモ知レマセヌケレドモ、名ハ實ノ實ナリ、ドウシテモ是ダケノ正條ヲ存シテ置カヌナラヌ、ドウシテモ此正條ガ無クナリマスルト、人ノ觀念ガ餘リ稀薄ニナリマスカラ、是非コレハ助ケヌナラヌコトト本員ハ心配シマシテ到底此條ヲ以テ將來ノ人心ヲ啓發シテ世教ヲ維持スル一端ニ供ヘタイト云フコトデアアル、ソコデ甚ダ長ク謂ハユル下手ナ演說デアリマスケレドモ、精神ハ御承知デゴザラウ、ソコデ本員ハ馬鹿ナ男デアアルカラ、此申上ゲタコトハ本員ガ申シタト思召サズニ、ドウゾ日本帝國……帝室ノ在天ノ靈ガ言ハレタノヲ關ノ口ヲ假リテ言ッタト思召シテ豐葦原ノ中ツ國ノ國家ガ關ノ口ヲ假リテ、是ダケノコトヲ言ハシメタト特ニ御聽取リヲ願ヒタイ、ソコデ一口申上ゲテ置キマスガ、萬一幸ニ諸君ノ御同意ヲ得テ成立ッテ居ルノデヤ、私ノ修正意見トシテ出テ居ルノハ、一ツノ氣付キデ書イタモノデアリマス、定メテ新刑法ガ成立ッテ以上ハ又差響ク所ガアルカモ知レマセヌカラ、萬一諸君ノ御同意デ成立ッテ致シマスレバ是非委員ニ再付託ヲシテ調査ヲ願フ積リデアリマスカラ、御斷リ申シテ置キマス、修正案ノ二百三十八條ノ二行目ニ「廢篤疾」トアル「廢篤疾」ノ「廢」ノ字ガ誤リデゴザイマスカラ、是ダケヲ御更正ヲ願ヒマス、之ヲ口頭デ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 暫ク休憩ヲ致シマス

午後零時九分休憩

午後一時六分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、午前ニ御委託ニ相

成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サマ
ス

〔小原書記官朗讀〕

帝國大學特別會計法案外一件特別委員

伯爵德川 達 孝君 子爵三島 彌太郎君 子爵水 野 直君

辻 新 次君 男爵千家 尊福君 男爵石 黒 忠 惠君

古 澤 滋君 男爵千秋 季 隆君 森 廣 三 郎君

關東都督府特別會計法案特別委員

伯爵宗 重 望君 男爵相 浦 紀 道君 長谷部 辰 連君

男爵西五辻 文 仲君 男爵南 光 利君 男爵吉 川 重 吉君

石 井 省 一 郎君 何 禮 之 君 日 高 榮 三 郎君

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案特別委員

子爵加納 久 宜君 子爵唐 橋 在 正君 田 中 芳 男君

德 久 恒 範君 男爵南 岩 倉 具 威君 男爵中 島 久 万 吉君

金 井 之 恭君 千 坂 高 雅君 左 右 田 金 作君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午前ニ續キマシテ刑法改正案ノ第二讀會ノ
續キヲ開キマス、通告ニ依リマシテ富井政章君ノ登壇ヲ請ヒマス

〔富井政章君演壇ニ登ル〕

○富井政章君 私ハ簡單ニ關君ノ修正案ニ對シテ反對意見ヲ述ベヤウト思ヒ
マス、此一兩日以來風ヲ引イテ、スツカリ聲ガ嘎レテ居リマスカラ定メテ御
聽キ苦イコトデアラウト思ヒマス、ソレハ何卒御容赦ヲ願ヒマス、關君ノ御
演說ニ依レバ我々一同ハ恰モ大不孝者デアッテ痛ク御叱リヲ蒙ッタヤウニ聞エ
マシタ、兎ニ角修正ノ御趣意ニハ誰一人トシテ反對ハ無イコトト考ヘマス、
父母ニ孝ヲ盡サチバナラヌコトハ人倫ノ大本デアアル、且ツ立國ノ基デアルト
云フコトハ全ク御同感デアリマス、此點ニ付イテハ關君ノ御述ベニナッタ精
神ニ對シテ滿腔ノ同意ヲ表スルノデアリマス、併ナガラ此原案ニ於テ此原則
ヲ輕ク視テ居ルカト云フニ、少シモサウ云フコトハ無イノデアリマス、原案
デアラウガ、修正案デアラウガ、尊屬親ヲ重ンジネバナラヌト云フコト、尊
屬親ニ對スル罪ヲ重ク罰セネバナラヌト云フコトニ付イテハ全ク同一デアリ
マス、唯々形ニ於テ修正案ノ如クスレバ法典ノ體裁上、甚ダ宜シクナイ違ヒ
ガアルバカリデアラウト思ヒマス、其理由ハ先ヅ修正案ハ此法律案ノ仕組ト

條文ノ順序ニ大變動ヲ來タシテ容易ニ治リノ付カヌコトニナルノデアラウト
思ヒマス、決シテ此修正案ニ書イテアルダケノイデクリデ事ガ濟ムト云フコ
トハ無イノデアリマス、條文ヲ引イテアル箇條ハ數多クアルコトハ、ドナタ
モ此案ヲ御一讀ニナッテ直ニ御分リニナルコトデアリマス、例ヘバ第二條ノ
如キ、第三條ノ如キ、第四條ノ如キ、是等ノ條ニ引イテアル箇條ハ悉ク修正案
ガ通過スレバ變ルノデアリマス、ソレ故ニ中ニ茲ニ書イテアルダケデ始末ガ
付ク譯ニ行カヌ、關君ノ言ハレタ如ク元ノ委員ニ再付託デモセネバ治リガ付
カヌト言ハレタノハ誠ニ尤デアラウト思ヒマス、私ハ此理由ダケデモ修正案
ニ反對スルノデアリマスガ、尙ホ進ンデ修正案ニ付イテ考ヘマス所ヲ述ブレ
バ、此修正案ハ唯々形ノ修正バカリデナイ、多少實質ノ改正モ含ンデ居リマ
ス、即チ原案ヨリモ一般ニ刑ガ重クナッテ居リマス、殊ニ尊屬親ヲ殺シタ場合
ノ刑ハ死刑又ハ無期刑トセズシテ如何ナル情狀ガアッテモ何時モ死刑ノ一ツ
ニ限ッテアリマス、然ルニ是ハ此刑法改正案ノ全體ノ精神ト符合セナイコト
ト思ヒマス、此刑法案ノ趣意ハ皇室ニ對スル罪ヲ除ク外ハ種々様々ナル犯罪
ノ情狀ニ從ッテ實際ニ言渡ス刑ヲ定メヤウト云フ主義ヲ執ッテ居ルノデアリマ
ス、如何ニ尊屬親ニ對スル罪デアレバト伸縮ノ利カナイ死刑ノ一ツニ限ル
ト云フコトハ此案ノ精神ト兩立シナイ觀念デアッテ甚ダ贊成イタシカヌル點
デアリマス、修正案ノ大眼目トスル所ハ此刑法ノ形ヲ改メヤウト云フコトデ
アリマス、即チ此案ニ於テハ尊屬親ニ對スル罪ト云フモノハ殺人罪トカ傷害
罪トカ遺棄罪トカ、ソレ々各罪ノ章ニ分ケテ規定シテアリマス、然ルヲ修正
案ニ於テハ特ニ一章ヲ設ケテ是等ノ規定ヲ一纏メニシヤウト云フノガ大眼目
デアルト思ヒマス、サウシテ此直系尊屬ト云フヤウナ分リ惡イ言葉ヲ用ヰ
シテ五千萬ノ國民、誰ニモ分リ易イ祖父母、父母ニ對スル罪ト云フ言葉ヲ用ヰ
タイ、斯ウ云フ趣意ト解スル、然ルニ直系尊屬ト云フ言葉ハ既ニ民法ニ數多ク
ノ場所ニ用ヰテアリマシテ、其意義ハ民法上明ニ定ッテ居ルコトデモアリ、又
今日ニアッテハ人民一般ニ知ッテ居ルコトト考ヘマス、然ルヲ父母、祖父母ト
云フ様ナ狹イ言葉ヲ用ヰテ總テノ場合ヲ網羅シヤウト云フコトハ甚ダ宜シキ
ヲ得ナイコトデアルト考ヘマス、祖父母ハ高曾祖父母ヲ含ムトカ云フヤウナ
説明的ノ規定ヲ置カネバナラヌ、サウシテ父母ト云ヘバ繼父母モ含ムト云フ
様ナ民法ニ於テ分リ切ッタコトマデ説明的ニ規定セネバナラヌ、即チ先刻村田
君ノ言ハレタ如ク親族例ト云フモノガ一般ノ原則トシテ民法ニ定メラレテ居

ルニモ拘ラズ刑法ニ於テ亦不完全ナル親族例ヲ置クト云フコトニナツテ法典ノ編成上甚ダ宜シキヲ得ナイコトデアルト考ヘマス、ソレカラ元來尊屬親ニ對スル罪ヲ特別ノ一章トシテ規定スルト云フコトハ甚ダ學問思想ニ後レタ編纂法デアラウト思ヒマス、其譯ハ尊屬親ニ對スル罪ト云フモノハ特殊ノ罪ト云フモノデハ決シテ無イノデアアル、殺人罪トカ傷害罪トカ遺棄罪トカ盜罪トカ、サウ云フ罪ハアルケレドモ、尊屬親ニ對スル罪ト云フモノハ無イノデアリマス、即チ各種ノ罪ニ付イテ重キ情狀ヲ爲スモノデアアル、各種ノ罪ニ付イテ尊屬親ニ對シテ犯シタガ故ニ其情ガ重イト云フコトデアアル、決シテ刑法第二編ニ竝ベテアルヤウナ特殊ノ罪デハナイノデアリマス、ソレ故ニ各種ノ罪ニ關スル規定ノ中ニ此情狀ノ重イ場合トシテ一段重ク罰スルト云フ規定ヲ置ク方法ニナラネバナラス、原案ハ則チ其方法ヲ執ツテ居ルノデアリマス、要スルニ何レノ點カラ考ヘテ見テモ此修正案ニハ同意ヲ致シ兼ネルノデアリマス、殊ニ初メニ申上ゲタガ如ク此修正案ノ通リトスレバ原案ハ全體ノ仕組ニ大變動ヲ來シテ全部編成ヲ仕直サネバナラスト云フノデアリマス、ソレモ先刻ヨリ段々申上ゲマス通り何等ノ實益モ無シニ其手數ヲセネバナラスノデアアル、何等ノ實益モ無イノミナラズ學問上ヨリ考ヘ、又近世ノ立法思想ノ上ヨリ考ヘテモ甚ダ惡ルイ編成法ニナツテ、而シテソレニモ拘ラズ今申シタヤウナ面倒ト手數ヲ爲サネバナラスト云フコトニナルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ關君ノ御趣意ト精神ニハ全然同感ヲ表シ且ツ尊敬イタスノデアリマスルガ、此刑法改正案ニ對スル修正トシテハ實質上ヨリ考ヘテモ又法典ノ體裁上ヨリ考ヘテモ、學理上ヨリ考ヘテモ、全ク贊成ヲ表スベキ理由ヲ發見シナイノデアリマス、ソレ故ニ諸君ニ於テモ何卒原案ノ通リニ御決シニナラムコトヲ切ニ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 谷子爵ノ御登壇ヲ望ミマス

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 諸君、私ハ修正案ノ贊成ノ一人デアリマス、先時提出者ノ關君カラ縷々御述ベニナツタ様子デゴザイマス、又今反對ノ富井君カラ御演說モアツタ様子デゴザイマスガ、不幸ニシテ少シ他ニ外シテ居リマシテ兩度トモ承ラザッタノハ誠ニ議會ニ對シテ誠實ヲ缺イテ甚ダ申譯ノ無イ次第デアリマス、抑此刑法ハ如何ナルモノカト云フコトハ私ハ甚ダ法律ニ暗イノデアアルカラシテハ、迎モ十分ノ意見ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、併

シ此日本ニ於キマシテカラニ未ダ曾テ商法民法其他ノ法律ノ出來ナイ極ク昔カラ此刑法ニ屬スルコトハ御承知ノ通り歷々ト歷史上傳ハツテ來テ居ル、政府ニ在ツテモ皆此人民ヲ戒メルト云フ今ノ刑法ニ屬シタコトハ繁簡ノ別コソアレ、歷史上チヤント備ツテ來テ居リマス、殊ニ此日本ノ國初ヨリ成立チニ於テ此父母ノ關係ト云フモノハ世々大變重イコトニナツテ居ル、ソレデハマデ父母祖宗ト云フ今稱ヘラレル尊屬、此事柄ニ於キマシテハ人民ノ腦髓ニ知ラズ識ラズ浸染シテ來ツテ居ル、所ガ今度ノ新法律ニ於テハ即チ其名稱ヲ變更スルノデアアル、父母ト云フモノガ詰リ尊屬ト云フコトニ代ハルノデアアル、ソコデ此刑法ト云フモノハ今申シタ通り總テノ人民ノ教ノ本デ親ニ不孝ナ者ハ斯ウ云フ目ニ遭フゾ、君ニ不忠ナ者ハ斯ウ云フ目ニ遭フゾト云フノガ是ガ我歴史上、明ニ示サレテ來テ居ル所ノモノデアアル、ソレヲ突然ト此父母ト云フコトヲ尊屬ノ中ヘ籠メテ仕舞ウタトキニハ固ヨリ刑法ニ明ナ者ナラバ此中ニ含ンデ居ルト云フコトハ知ルガ、總テ此下層人民ユナリマシテハ親不孝ナドト云フコトノ是マデアッタコトガ見當ラナイ、見當ラナイトモウ何モ親モ普通ノ人モ少シモ變ラヌ、同ジコトデアアル、斯ウ云フヤウニ取リ込ム、又親ト云フコトヲ今デサヘモハヤ惡シキ西洋ノ風俗ガ這入ツテ來テカラニ大變其親ヲ輕蔑シ、近來ノ新聞ニハ親ヲ殺シタト云フコトガ幾ツモ出テ來テ居ル、ソレヘ持ツテ來テ此著シク名稱ヲ變更シテ見タトキニハ、モウ人民ニ一方カラ言ヘバ惡ヲ勸メルト言ツテモ構ハヌ、譯ノ分タ人ナラバ尊屬ニ籠ツテ居ルト云フ、法律家ナレバ分ルガ、チヨット法律ノ分ラヌ者ナラバ尊屬ト云フノハ何所ニ止マルカ、斯ウ云フ疑モ起ルノデアアル、之ヲ變更スルニ於テハ實ニ容易ナラヌ事柄デアアル、又之ヲ其儘存シテドレホド害ガアルカ、矢張り尊屬論者ト雖モ父母ハ大切ナ者デアアル、即チ其精神ニ於テハ同感デアルト云フコトヲ富井君モ言ハレタ、サレバ法律文ニ面白クナイト云フ位ナコトデ、此名稱ヲ御變ヘニナルト云フコトハ私ハドウモ其意ヲ得ナイ、法律ハ……何レ善ヲ勸メ惡ヲ懲ス方ノ此刑法ハ趣意デアアル、スレバ尙サラ名稱ヲ明ニシテ誰デモ知ル所ノ親ト云フコトヲ掲グルニ於テ最モ是ハ法律ノ必要デアラウト思フ、文章ガ惡イ、語呂ガ惡イ、字句ノ都合ガ惡イナドト云フコトデ此大事ノ名稱ヲ變更スルト云フコトハ驚入ツタ事柄デアリマス、ソコデ詰リ我國ニ於テハ、定メテ關君モ御說キニナツタデアリマセウカ、詰リ國初ヨリシテ孝道ヲ以テカラニ天下國家ヲ御治メニナツタ譯デアアル、ソコデ其以下ノ臣民ガ即チ孝道ニ基

イテ忠ヲ盡スノデアル、ソレ故ニ西洋ニ未ダ曾テトハ言ハヌ、我々モ孝行ノ人ノアルコトヲ多少聞イテ居ルガ、西洋デ少シモ其重キヲ置カヌ所ノ孝道ト云フモノガ日本ニハ儼然トシテ知ラズ識ラズノ間ニ多數ノ人民皆承知シテ居ル、是ガ即チ一家團圓ニ貧乏人モ其所ヲ安シ愚人モ親ト云ウタレバ大切ニスルト云フモノニナツテ居ル、是ガ教育ノ實ニ淵源デアル、ソレ故ニ曾テ聖天子ヨリ賜ハリマシタ勅語ノ中ニモ忠孝ト云フコトヲ以テ教育ノ根本トナサレテアル、是モ一方カラ言ヘバ忠孝ノ孝ト云フ字ヲ變ジテ尊屬、尊屬ニ孝ヲ盡ス、サウ云フコトニ法律文カラ云ヘバ變ヘニヤナラヌ、デ教育ノ根本ニナツテ居ル所ノモノヲ基礎トシテ他ノ法律ニサウ云フコトガアルナラバ、ソレヲ變ヘテ仕舞フガ宜イ、又此忠孝ト云フコトニ付イテハ歐羅巴ニ無イト、歐羅巴ニ無イト云フコトヲ以テ或ル種ノ人間ハ親ニ孝ヲ盡スナドト云フコトハ古イ事柄デアル、又君ニ忠ヲ盡スナドト云フコトモ是モ亦古イ話デ、詰リ我ガ居ル所ノ國ニサヘ忠ヲ盡セバ宜イ、斯ウ云フ論モアル、併ナガラ誰モ今日認メテ居ル通り我國ノ一系ノ天子ヲ萬世ニ戴イテ動かヌノハ何デアアルカ、人民ガ皆此忠孝ノ道ニ厚イ故デアアル、且又近時支那ノ大國ト戰爭ヲシテ勝ッタルハ何デアアル、又露西亞ト戰ウテカラニスノ如キ勝算ヲ得タルハ何デアアル、是レ全ク忠孝ノ教ノ人民ニ浸潤シテカラニ去ルベカラザルモノガアルカラデアアル、若シ西洋ノ如クニ、我ガ此ノ小サイ島國ニシテ此一系ノ天皇ヲ萬世ニ戴ク所ノ忠孝ノ道ヲ去ッたらドウナル、皆唯々利是レ競フコトニナツテ生命ヲ捨テテ戰爭ヲスルナドト云フコトハ次第次第ニ薄ライデ仕舞ウテ國家ヲ維持スルコトモ出來ナイ、ソレデ兎角是マデノ法律ガ西洋萬能デ何モ彼モ西洋通りニシナケレバナラヌ、或ル時期ニ於テハ人種改良デ西洋人ト血ヲ混合シテ人マデ改良セネバナラヌ、又宗教モ此東洋ノ間ヌルイ宗教デハイカナイ、皆基督教ニセニヤナラヌ、ト云フコトヲ堂々タル人ガ言ウタコトヲ耳ニシテ居ル、其言ウタ人モ知ツテ居ル、併シ次第ニ此我ガ道ノ貴イト云フコトガ此戰爭ノ度ニ明ニナツテ來ルト共ニ外國人モ何故ニ日本ハアノ小國デ斯ノ如ク強イカト云フコトヲ不審シタ、不審シテ見ルト、ソロ／＼是ガ分リ出シタ、マダ極薄弱ナ武士道ナドト云フコトニ重キヲ置イテ居ルケレドモ、是ガ一層明ニナツタトキニハ萬國ニ我ガ國一アルノミト斯ウ云フコトニナル時期ガラウト本員ナドハ信ジテ居ル、デ斯ノ如キ此大切ナル孝道ト云フモノノ根本ノ名稱ヲ變ヘテ少シモ怪マヌト云フニ至ッテハ、マダ此十八九年カラ二十年

二十一年頃ノ夢ガ殘ッテ居ルト我々ハ思フ、其夢ノスッカリ覺メテ仕舞ッタクニアラザレバ、此外國交際ナドト云フコトニナツテ、之ヲ立派ニ切抜ケテ談判スルコトハムヅカシイ、軍人ガ必死デ戰ヲシタモノヲ真正ノ忠孝魂ノ無イ者ガ談判ニ當ッタトキニハ、百日ノ勞ヲ一日ニ失ッテ仕舞フヤウナ談判ヲスルヤウニナリ、意氣地ノ無イコトニナル、デ長イコトハ言ヒマセヌ、是ハ容易ナラヌ事柄デアルカラシテハ、私ノ希望ハ實ハ自分モ十分ニ得讀ンデ居ラスガ、モウ一ツ篇ト吟味ヲスル爲ニ委員ニ再ビ付託シテ、十分ニ討論ヲ盡シテ、サウシテ改ムベキナラバ上奏シテカラニ教育ノ根本タル教育勅語モ御改メナサルコトヲ願フガ、宜カラウト思フ、一方デハ忠孝ヲ以テチャント立ッテ居ル、ソレニ持ッテ行ッテ一方デハ尊屬ト言ッテ名ヲ變ヘテ居ル、同ク尊屬ト云フコトデ通用ヲスルナラバ、教育ノ本タル勅語モ或ハ願ハレヌコトモナイカモ知レナイ、我々ハ同意デハナイガ、マアサウ云フ道理ニナル、何ゾ之ヲ法律文ガドウダトカ、或ハ商法其他ノ法律ニ是ガアルト云フコトヲ以テ、惡イ方ヲ以テ善イ方ヲ變ヘルト云フノハ言語道斷デアアル、諸君、私ハ此案ハ大變大切ナ案デ、且又夥シイ浩瀚ナ法律デアアル、デ委員ニ再付託ニナツテ篤ト御吟味ノ上デ再ビ此議場ニ現ハレルコトヲ希望イタシマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

〔政府委員倉富勇三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(倉富勇三郎君) 刑法ノ改正案ニ就キマシテ、關君ヨリ修正案ヲ御提出ニナツテ居リマスカラシテ、其修正案ニ對シマシテ一言申述べタイト思ヒマス、然ルニ此修正案ニ對シマシテハ、先刻村田君竝ニ富井君カラシテ其修正案ノ不都合ナル點ヲ委シク御述べニナツテ居リマスカラシテ、私ハ重複ヲ避ケマスル爲ニ重ネテ兩君ノ御述べニナツタ點ハ申述べナイ積リデアリマス、唯關君ノ御演說ヲ承リマスレバ、刑法改正案ニ於テモ尊屬ニ對スル特別ノ規定ハ設ケテアル、併ナガラソレガ各條項ノ間ニ挿入シテアツテ、特別ニ祖父母父母ニ對スル章ガ設ケテ無イノデアアル、特別ニ章ヲ設ケヌ以上ハ一般ノ人ニ觀念ヲ與フルコトガ甚ダ薄弱デアアル、依ッテ自分ハ修正トシテ第三十六章ニ特別ノ一章ヲ設ケタイト云フ御趣意デアアルノデアリマス、ソレガ私ニハ十分了解ガ出來マセヌ、成ルホド改正案ニハ特別ニ祖父母父母ニ對スル罪ト云フ章ハアリマセヌケレドモ、關君ノ御述べニナツタ通り、殺人ノ罪ニ就キマシテモ傷害ノ罪ニ就キマシテモ逮捕監禁ノ罪ニ就キマシテモ、既ニ政

府提出ノ原案ニ特別ノ規定ガアルノデゴザイマス、ソレカラ又本案ノ特別委員會ニ於テ遺棄罪ニ就イテモ矢張り尊屬ニ對スル特別ヲ設ケルガ適當デアアルト云フ御詮議ニナツテ、即チ修正案トシテ一ノ箇條ニ設ケラレテアル、決シテ改正案又ハ委員會ノ修正案ニ於テモ尊屬ニ對スル罪ヲ通常ノ罪ト同様ニ處罰ヲスルト云フ趣意デハ毛頭無イノデゴザイマス、ソレガ各條ニ散見シテ居レバ注意ヲ喚起スコトガ薄イ一章ニ纏マツテ居レバ注意ヲ喚起スコトガ深切デアルト云フコトハ、ドウ云フ理由デゴザイマセウカ、一向其理由ガ私ニハ分ラヌノデゴザイマス、若シモ改正案ニ於テ祖父母、父母ニ對スル特別ガ無イト云フコトデアリマスレバ、關君ノヤウナ御論ガ出ルノハ當然ノコト思ヒマスルケレドモ、唯今申述ベマス通り、此改正案ニ於テハ十分ニ其點ニ意ヲ用非テ居ルノデゴザイマスカラシテ、唯各條ニアルノト一章ニ纏メテアルノデ、ドウシテ關君ノ御述ベニナルヤウナ差異ガアルノカ私ニハドウモ分リマセヌ

「子爵谷干城君」能ク分リマス、私ニハ：「ト述ブ」

第二ニ關君ノ理由トシテ御述ベニナルノハ名稱ノ點デアリマス、即チ直系尊屬ト云フノト祖父母父母ト云フノト用語ノ差異デアアル、ソレデ此點ニ就イテ主トシテ御述ベニナリマスルノハ、祖父母父母ト云フ名稱ナラバ誰ニモ了解ガ出來ル、併ナガラ直系尊屬ト云フ用語ニナルト下等ノ人ニハ了解ガ出來ナイ、ソレデ斯ノ如キ刑法ノ用語トシテハ、誰ニモ能ク分ル所ノ祖父母父母ト云フ名稱ヲ用非タイト云フ趣意デアリマス、此御趣意モ決シテ原案ヲ編成スル上ニ於テ反對デハナイ、十分ニ其邊ニモ意ヲ用非テ居ルノデアリマス、例ヘテ言ハバ現行刑法ニハ姪婦ノ世話ヲ致シマス者ヲ穩婆ト稱シテアリマ스가、是ハ一般ニ產婆ト稱ヘマスルカラ、成ルベク分リ易イヤウニ產婆ト云フ字ヲ改正案ニハ用非マシタノデアリマス、ソレカラ事、皇室ニ關シマスルガ、現行刑法ニハ「天皇」后「ト云フ文字ヲ用非テゴザイマス、併ナガラソレヲ改正案ニ於テハ改メテ「天皇、太皇太后、皇太后、皇后、三后ト云フ文字ヲ特ニ明瞭ニスル爲ニ一々名稱ヲ掲ゲテ居ルヤウナコトデアリマス

「子爵谷干城君」スレバ人民ノ方モ其通りニスルガ宜イヤウニ思フ」ト述ブ

ソレデ其點ニ付イテ決シテ意ヲ用非ヌノデハアリマセヌガ、ソレモ程度ノ問題デアリマシテ、今日一般ニ法律ニ稱シテ居リマスル所ノ配偶者、其配偶者

ト云フコトノ用語ハ如何デアリマセウカ、古來最モ普通ニ慣用サレテ居ル言葉ハ夫婦トカ或ハ夫妻トカ云フ言葉ガ慣用ノ言葉デアリマセウ、併ナガラ之ヲ相互ノ關係ヲ言現ハス爲ニハ夫婦トカ夫妻トカ云フ言葉デハ十分盡サヌ場合ガアリマスカラ、既ニ明治十五年カラ施行サレテ居リマス今日ノ刑法ニ於テモ夫婦ノ關係ハ新タナ名稱ヲ用非テ配偶者ト云フ文字ヲ用非テ居ルノデアリマス、之ヲ若シ古來ノ慣用語ト云ハバ配偶者ト云フ文字ヲ避ケルガ宜イカ知リマセヌガ、ソレデハ矢張り實行上差支ガアルカラ、今日ノ刑法ニモ新タナ配偶者ト云フ文字ヲ用非タモノト思量セラルルノデアリマス、此點ニ付キマシテ：

「子爵谷干城君」ソレハ大小ノ別ガアルト述ブ

關君モ矢張り配偶者ト云フ文字ヲ御用非ニナツテ居ルヤウデアリマス、然ラバ祖父母、父母デ如何デアアルカト云フニ、丁度此修正案ニ於キマシテモ、ソレデハ盡サナイト云フコトヲ御考ヘニナリマスル結果「祖父母ト稱スルハ高曾祖父母同シ」ト云フ註釋メイタコトガアリマス、若シ單ニ祖父母、父母ト云フダケデ十分意ヲ盡スコトデアレバ、マダデアリマスガ、決シテソレダケデハ盡サナイ、ソレデ民法ニ於テハソレヲ極簡便ニ言現ハス爲メニ「直系尊屬」ト云フコトヲ法律上ノ用語トシテ用非テ居ル、又反對ニ直系尊屬、直系卑屬ト云フノモズツト子孫ヨリ下ニ及ブマデヲ含ム爲ニ直系卑屬ト云フ言葉ヲ用非テアルノデアリマス、ソレデ先刻祖父母、父母ト言ハバ極メテ明瞭デアアル、直系尊屬ト言ハバ了解ガ出來ナイト云フ御説明ヲ承リマシタガ、假ニ祖父母父母ト云フ名稱ハ誰ニモ分ルトシマシテモ、祖父母ト云フ文字ノ中ニハ高曾祖父母マデ含ンデ居ルト云フコトガ如何デアリマセウカ、直系尊屬ト云フ言葉ノ分ラヌ人ニ果シテ分ルデアリマセウカ、私ハ尙更ムツカシイト思ヒマス、刑法上子孫ガ祖父母父母ニ對シテ云々ト云フ一箇條ダケヲ見テ、是ハ祖父母父母ニ止マルノデアアル、其以上ハドンナコトガアツテモ通常ノ人ト同様ダト解釋スルト云フノガ、直系尊屬ト云フコトガ分ラヌ者ニハ當然デハ無カラウカト思ヒマス、右ノ様ナ次第デ祖父母父母トスレバ一點ノ疑モ無ク直系尊屬デハ分ラヌト云フコトハ了解ガ出來ナイノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタ通り既ニ兩君カラ御説明ニモナツテ居リマスカラ是デ措キマシテ、更ニ私ハ修正案ニ於テ或ハ御趣意ト反對スル結果ニナリハセヌカト云フ點ヲ一言申上ゲタイト思ヒマス、關君ノ御修正ノ趣意ハ成

ルベク改正案ヨリモ祖父母父母ニ對スル罪ハ嚴重ニ處分シタイト云フ御趣意デアルト承ハル、然ルニ政府提出ノ原案ニ於キマシテハ二百二條ニ通常ノ殺人ナリ又直系尊屬ニ對シテ殺人ノ豫備ヲ爲シタ者ハ二年以上ノ懲役ニ處スルト云フ規定ガアリマス、之ヲ關君ノ御修正ニ依リマスルト二百一條ハ自己ノ直系尊屬ニ對スルコトハ省カレマシテ配偶者ノ直系尊屬、配偶者ノ祖父母父母ニ對スル罪ダケニナル、其結果ドウ云フコトニナルカト云ヘバ、通常ノ人殺シ、ソレカラ配偶者ノ祖父母父母ヲ殺サムトシテ豫備ヲ爲シタ者ダケ罰セラレルガ、一番重ク視ラレル所ノ祖父母父母ニ對スル謀殺ノ豫備ヲ爲シタ者ハ無罪ニナルト云フ結果ニナル、ソレカラ尙ホ二百十九條ニ於キマシテ遺棄罪ノ規定ガアリマス、其遺棄ノ結果、人ヲ死傷ニ致シタトキハ改正案ニ於テハ傷害ノ罪ニ比較シテ重キニ從ッテ處斷スト云フ規定ガアリマス、然ルニ此御修正ノ案ニ依リマス子孫ガ其祖父母父母ニ對シテ衣食ヲ供給セズ其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ六月以下ノ懲役ニ處スト云フコトニナッテ居ル、原案デハ此奉養ヲ缺イタ方ハ三月カラ五年マデノ懲役ニ處スル、其結果死傷ニ致セバ傷害ノ罪ニ照シテドチラカ重イ方デ處斷スルト云フノデ十分重イ刑ヲ用弗ルコトニナッテ居リマスガ、此御修正デハ第一本刑ハ極ク輕ク單ニ六月以下ト云フコトニナッテ居リマス、其結果如何様ナコトガアッテモ六箇月ニ過ギナイト云フコトニナッテ居リマスカラ、改正案ニ照シテモ又現行ノ刑法ニ照シテモ非常ニ刑ガ輕クナッテ居リマスカラ、是ハ或ハ御修正ノ御趣意ト反對ノ結果ニナリハセヌカト思ヒマスノデアリマス、右様ナ次第デアリマスカラシテ既ニ改正案ノ本來ノ趣意ニ於テ決シテ此點ヲ見逃シテ居ル次第デハナイ、十分意ヲ用弗テ居リマス、又御修正ノ案デハ唯今申述ベマシタ結果ニモナリマスカラ、旁、此點ニ就イテ御同意ヲ表スルコトハ出來マセヌノデマリマス

○子爵谷干城君 唯今政府委員カラ御説明モアリマシタガ、段々質問シタイコトモアリマスケレドモ、私モ實ハ不詮議ナ所ガアリマスカラ演壇ニ於テ申上ゲマシタ通り是ハ非常ナ大問題ト思ヒマスカラ、ドウゾ皆サン再付託ノコトニ御同意ヲ願ヒマス、今日ニ之ヲ決セネバドウシテモ仕方ガ無イト云フコトデハナイト思ヒマス

○村田保君 他ニ通告ハゴザイマセヌデスカ

○議長(公爵徳川家達君) ゴザイマセヌ

○村田保君 ソレナラ本員ハ少シ反對ノ意見ヲ述ベタイト思ヒマス

〔村田保君演壇ニ登ル〕

〔子爵谷干城君〕村田君ハ御頼マレデハゴザイマセヌカ：：〔ト述ブ〕
○村田保君 ケシカラヌコトヲ仰シヤル、私ハ唯今議長カラ演壇ニ登リマス權利ヲ得テ居リマスカラ、若シアナタガ御述ベナサルナラ私ノ述ベマシタ跡デ、ドウゾ：：

〔子爵谷干城君〕前ニサウ云フコトガ有リマシタカラ、：：アナタガ頼マレテ御演説ヲナサツタコトガアリマシタカラ、今度モ又サウデハ無イカト思ッテ言ウタノデアリマス〔ト述ブ〕

關君ハ先キホド段々此御修正提出ニ付キマシテ色々理由ヲ述ベラレマシタガ、其中ニハ段々實ハ間違ッテ居ルコトガアルノデス、併シ之ヲバ私が別段ニ述ベマセヌデモ宜ウゴザイマスルガ、若シ私が之ヲ述ベマセヌデゴザイマシタラバ或ハ其通りダト云フヤウナコトニナリマシテハ宜クナイト存ジマスルカラ、一應其間違ダケヲ私ハ述ベテ置キタイト存ジマス、私ハ先ホド述ベマシタ通り明治初年ヨリ日本ノ刑法何レモ私ハ關係ヲシテ居リマスルカラ其時分ノ事實ヲ能ク知ッテ居リマス、關君ハ第一、親殺シト云フモノハ幕府時代ニ磔刑ト云フモノニナッテ居ル、ソレハ明治三年頃マデハアツタガ、併ナガラドウモ人殺シニ就イテ何モ磔刑ニシタリ斬殺シタリスルコトガ何モ苦メル以上ニ於テ區別ハ無イカラシテ磔刑ガ明治三年ニ刑法ニ於テ止メラレタモノダト云フコトデアリマスガ、ソレハサウデナイ、明治政府ニナリマシテハ一遍磔刑ト云フモノヲ用弗タコトハ無イ、成ルホド假刑律ナドト云フモノニハ親殺シトカ或ハ主殺シトカ夫ヲ殺シタトカ云フモノハ、是ハ磔刑ト云フコトガ幕府ニアツタモノデアリマス、ソレハ引回シノ上磔刑ト云フコトニシテ火ヲ附ケタモノハ引回シノ上ニ火刑ニスル、ソレカラ又主殺シ親殺シト云フモノハ鋸引ト云フモノニシタ、鋸引ト云ウテモ鋸デ斬ル譯デモナイ、日本橋等ノ橋ノ上ニ三日ホド曝シテサウシテ竹ノ鋸ヲ拵ヘテ脇ニ置イタモノデアリマス、ソレデ幕府以來、全ク磔刑ト云フモノハ行ヒマシタガ、御維新ニナッテハ無イ、明治初年ニ磔刑ト云フモノハ是ハ苦メル苦メヌト云フ譯デ無クシテ實ニ酷ナル刑ダト云フノデ廢セラレタモノデアアル、ソレデ磔刑ト云フモノハソレ故ニ明治初年ニ之ヲ廢セラレタモノデアアル、ソレカラ刑法ト云フモノガ必ズ人民ニ知ラセナクテハナラヌ、ソレデ此民法トハ違フ、民法ハ人民ニ是

非知ラセナクテハナラヌト云フコトハナイガ刑法ハ是非トモ知ラシテ置カナクテハナラヌト云フノハ、是ハ餘ホド私ドモハ間違ッテ居リハシナイカト思ヒマス

〔子爵谷干城君「間違ヒマセヌ」ト述ブ〕

刑法ト云フモノハ、是ハ何モ一般ニ是非知ラナクテハナラヌト云フモノデハ無イト思ヒマス、民法ハ銘々ニ直接關係ガアルカラ、ドウシテモ知ラナケレバナラヌ

〔子爵谷干城君「勿論、知ラナクテハナラヌ」ト述ブ〕

先キホドモ申シマシタ通りドウゾ暫ク：私ノ述ベマスコトヲ御妨ゲ無クシテ、アナタガ御述ベナサル自由ハアリマセヌカラ：

〔子爵谷干城君「刑法ノ講釋ハ：」ト述ブ〕

ソレデ此刑法ハ、惡イコトサヘシナケレバ宜イ、決シテ人ノ物ヲ盜ミモシナケレバ人ヲ傷メルコトモナク、自分ガ惡イコトヲシナケレバ決シテ刑法ニ掛カルコトハ無イ、新律綱領ニナリマシテ即チ明治政府ニナリマシテカラ刑法ト云フモノハ一般ニ示シタモノデ、決シテ幕府時代ニ於キマシテハ刑法ト云フモノハ一般ニ示サナイ、是ハ幕府ノ刑法ト云フモノハ極ク幕府萬般ノ掟デ、其上各藩トモ是ハ祕密ナモノデアアル、其裁判ニ與カリマスル者ハ其終ヒニ持ッテ行ッテ皆裁判官ガ血判ヲシタ、決シテ此法律中ノコトハ假令親子兄弟タリトモ之ヲ漏スコトハナラヌト云ウテ皆血判ヲシテ居リマス位、其位ナモノデソレハ谷サンモ御存ジデアラウト思ヒマス、ソレデ成ルホド關君ハ制札場ト云フモノガアッタ、或ハ日本橋トカ方々ヘ持ッテ行ッテ、アア云フ制札ヲ立ッタ、ソレニハ親ヲ殺シタ何ト云フコトガアル、是モ私ハ覺エテ居リマス、覺エテ居リマスルケレドモ、其制札ト云フモノハ最モ重モナルモノヲソレ故ニ示シタモノデアアル、ドウモ刑法ヲ一般ニ示シマセヌケレドモ大ナルコトダケハ矢張り知ラセタ、第一番ニ私ノ記憶シテ居リマスノハ、アノ制札ノ第一ニ書イテアルコトハ切支丹巴天連宗ヲ學ブ者ト云フコトガ書イテアル、ソレカラ親ヲ殺シタ者ガアル、其時分ニ祖父母ト云フコトハナイ、ソレカラ主人ヲ殺シタ者、ソレカラ夫ヲ殺シタ者、或ハ火ヲ放ケタ者ト云フヤウナコトガアリマ

スガ、ソレデ此關君ハ頻ニ祖父母父母ノコト、親ノコトヲ仰セデアリマサガ、ソレバカリデハナイ、日本ノ國體ト云フモノハ單リ親バカリデハナイ、主人ト云フモノハ元ハ大變重シタ、主殺シト云フモノハ磔ケル、矢張り三

日曝シ、サウシテ鋸引ニシ磔刑ニスル、主殺シト云フモノハ大變重カッタ、ソレカラ夫ヲ殺ス者モ大變重イ、夫ヲ殺ス者ハ親ト同ジデアアル、ケレドモサウ云フコトハ、チットモ仰セガ無イ、是ガ矢張り忠孝ノ道ヲ擴メテ來レバ、ドウシテモ夫ヲ親ト同クシナクテハナラヌ、又謂ハユル個人今日ノ個人ノ主人ト云フモノハ：ドウシテモソレカラ國ニ及ブデアリマスカラ、ドウモ是ハ別ニシナクテハナラヌト云フ論ガ出ルダラウト思ヒマスガ、ソレハ一向何トモ仰セガ無イ、ソレカラ祖父母、父母ヲ殺シタ者ハ如何ナル事情ガアラウトモ之ヲ宥恕スルコトハ無イト云フ仰セデアリマサガ、是モ今日ハ餘ホド違フ、成ルホド新律綱領時代ニハサウ云フ事情ガアッタ、ソレ故ニ假令過失デ祖父母父母ヲ誤ッテ殺シテモ新律綱領ニ於テハ罰シタノデス、併ナガラ今日ノ法律ト云フモノハ罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ罰セヌ、意ナクシテ殺シタ者ハ罰ニナラヌ、即チ自分ノ心ニ惡意ガ無ケレバ罪シナイ、ソレハ成ルホド過失デ自分ハチットモ知ラヌ、ソレガ誤ッテ親ヲ殺シタ、自分ガ斧デ薪ヲ割ッテ居ッタ、トコロガツイ誤ッテ斧ノ頭ガ飛ンデ行ッテ途方モ無イ所ニ親ガ見テ居ッテ中ッテ死ンダト云フノハ自分ノ心ニ於テ殺スト云フ意ガ無イ、ソレデ罰スルト云フコトハ今日刑法ノ原則上サウ云フコトハ出來ナイ、ソレ故ニ今日ノ現刑法デハ假令親ト雖モ：過失、意ノ無イ者ヲ罰スルコトハ原則上出來ヌカラシテ、過失殺ト云フモノハ除イテアル、ケレドモ關君ノ仰セノ如クナレバ是モ新律綱領ノ如ク罰セナクテハナラヌ

〔子爵谷干城君「誤解誤解」ト呼ブ〕

サウ云フコトハ今日ハ違ッテ居リマスカラ、ソレマデ此所ヘ御入レナサラナクテハナラヌ、ソレカラ又モウ一ツ新律綱領ニハ干名犯義ト云フコトガアル、干名ト云フコトハ子トシテ親ヲ訴訟ヲシ親ヲ訴ヘルト云フコト、子トシテ祖父母父母ノコトヲ訴ヘルト云フコトガアリマシタナラバ謂ハユル假令親ガドンナ惡イコトヲシテモ、例ヘバ親ガ人ヲ殺シタモノニシテモ國事犯ヲシテモ、ソレデモ子トシテ祖父母父母ノ事ヲ云ヘバ干名犯義ト云フモノデ罰スルト云フコトニナッテ居ッタ、サウ云フコトモアリマシタケレドモ、是等モ既ニ現刑法デ除ケテ居ルノデスカラ、此刑法ト云フモノヲ今日作りマサレバ餘ホド元ノヤウナ新律綱領：即チ是ハ支那律ヲ元トシテ我々ドモアレハ其時分ナニシタモノデゴザイマスカレドモ、餘ホド斯ウ云フ現刑法ノヤウニ歐羅巴ノ主義ヲ參酌シテサウシテ成リマシタ刑法ト云フモノハ刑法ノ原則ト云フ

モノガアル、ドウモソレニ背イテ無理ニスルト云フコトハ出來ナイ、其邊ハ餘ホド御考ヘテ願ハナクテハナラヌ、親族例ト云フモノハ……

〔子爵谷干城君「ソレナ講釋ハ承ラヌデモ宜シイ」ト呼ブ〕

親族例ト云フモノハ先程モ述ベマシタ通り民法ガ出來タラ要ラナイ、民法ノ親族例ニ關係ヲ定メテアル、然レドモ如何セム現刑法制定ノ時分ニハソレガ無イカラ據ナク假ニ設ケタノデ、ソレ故ニ此刑法ニ於テ特ニ設ケタモノハ是ニダト云ツテ、民法ニ關係ノ無イヤウニ特ニ設ケタノデ、所デ今回ハモウ民法ノ出來タ上ニ此上、祖父母父母及子孫例ト云フモノヲ設ケルト云フハ……若シ斯ウ云フコトガ成立チマシタナラバ、今度ノ法典ハマルデ分ラヌモノニナツテ仕舞フ、一向何ノ爲ニ改正スルヤラ、親族例ガ民法ニアルノニ、又刑法ヘ持ッテ來テ、祖父母父母及子孫例ナドト云フ、是ハ現刑法ニモナケレバ新律綱領ニモ無カラウト思フ餘ホド妙ナモノニナル、ノミナラズ、關君ノ述ベラレマシタノニ、此刑法ニ大體賛成ヲスル、反對デハナイ、賛成ダト言ハレ、所ガ其事實ハサウデナイ、若シ斯ノ如ク修正ニナレバ賛成デナク此刑法ノ破壊説デアル、刑法ノ破壊ニナリマシテ、容易ニ此刑法ガ議會ヲ通過スルト云フコトガ出來ヌコトダラウト思ヒマスカラ、却ッテ賛成デナク大反對論ニ歸シハシナイカト思ヒマス、ソレカラ谷君ガ先キホド述ベラレマシタ是モ同様、忠孝ノ道……忠孝ノ道クラ非日本人ハ誰モ知ラヌ者ハ無カラウト思フ

〔子爵谷干城君「サウデナイ」ト呼ブ〕

先キホド谷君ハ講釋ハ要ラナイト云フ仰セデゴザイマシタケレドモ、谷君ハ忠孝ノ講釋ヲ最モ長ク御聽カセナサツタ、私ハ其時分謹ンデ谷君ノ忠孝ノ講釋ヲ最モ長ク拜聽シテ居リマスカラ、……尤モ谷君ハ冒頭ニ於テ私ハ法律ヲチヨットモ知ラヌ法律ニハ昧イカラト云フ仰セガアリマシタガ或ハ是ハサウカモ知ラヌ、或ハ谷君ハ誤解ヲナサレテ居ラシヤリハシナイカト思フ、餘ホド谷君ノ先キホド御述ベニナツタコトハドウモ誤解ダラウト思ヒマス、谷君ハ此名稱ヲ變更スル、祖父母父母ト云フ名稱ヲ變更スルト云フコトハ容易ナラヌコトダト仰シヤル、ソレガ第一誤解デヤゴザイマセヌカ、成ルホド私ハ若シ谷君ガ文字上デ仰シヤルナラバ、是ハ今度ノハ尙ホ善イト仰シヤツテ御褒メニナツテ宜イト思フ、ナゼナラバ祖父母父母ヲ尊屬トシタノハ尊ハ尊ブノデアアルカラ惡ク言フノデハナイカラ御喜ビニナツテ宜イト思フ、サウ仰

シヤツテ宜ササウナモノト思ヒマスガ、尊屬ト云フコトデハ分ラヌ、一般ノ者ニハ分ラヌ、是ハ名稱ヲ變更スルノダト仰シヤル、サウ云フ譯デハナイ、尊屬卑屬ノコトハ今日民法ノ定マリマシテカラハ、恐入ッタコトデスケレドモ今日、皇室典範ノ御増補ガ出マシテモ、矢張り卑屬ト云フコトヲ仰シヤル、ソレガドウデスカ、民法ニ尊屬卑屬ト云フコトガアツテ見レバ皇室デモ矢張りソレヲ御用ニナナル、是ハ民法ト云フモノガアツテ見レバドウモ致シ方ガ無イ、ドウモ矢張りサウ云フコトニナツテ來ナケレバナラヌ、ソレデ直系ノ尊屬ニナリマスレバ、ズット上マデ高祖父母、曾祖父母マデ這入リマスケレドモ、單ニ祖父母父母デハ這入リマセヌ、谷サンハ祖父母父母トスレバ宜イト仰シヤルケレドモ、サウハイカヌ、修正ニ御賛成ニナツテ居リマスケレドモ、恐ラクハ修正ノ中ノ事由ヲ能ク御調ベニナラヌデ御賛成ニナツタニ違ヒナイ、若シソレヲ御調ベニナツタト仰シヤルナラバ私カラアナタニ質問シテ、恐ラク御答ハ出來マイト思フ

〔子爵谷干城君「ソレダカラ再付託シテ吟味シヤウト云フノダ」ト述ブ〕

ソレカラ此中ニ祖父母父母ヲ癱疾篤疾ニ致シタ者ト云フコトガ關君ノ修正ノ二百三十八條ニアル、是ハドウ云フコトデゴザイマセウ、若シ今日ノ刑法ガ無クナツテ、癱疾ト申スハドンナコトデゴザイマセウカ、分ラナイ、此刑法ガ若シ此儘修正ニナリマシテ是ガ通りマシタナラバ關君ニ御尋シタイガ、癱疾トハ何ノコトデアル、篤疾トハ何ノコトデアル、癱疾トハ何ノヲ以テ癱疾トスルカ、篤疾トハ何ノヲ以テ篤疾トスルカ、是ハ即チ現刑法デ即チ癱疾トハ一肢ヲ折り一目ヲ瞎シタル者、ソレカラ篤疾トハ兩肢ヲ折り兩目ヲ瞎シタル者、是ノ者ヲ癱疾トスル、篤疾トスルト云フコトガアリマスガ、唯是ダケノ修正デハ何ダカ分ラヌモノニナル、併ナガラ關君ハ現刑法ニアルカラ分ルト仰セナラバ、親族例ノ事モ矢張り今日ノ現刑法ニモウ既ニ色ノコトガアリマスカラ、ソレデ分ルト云ツテモ宜イデスガ、ドウモ私ハ是バカリデハ癱疾篤疾ト云フモノハ……何ゾ特ニ癱疾例、篤疾例ト云フモノデモ出タラ分リマセウケレドモ、恐ラク此儘デハ誰ニモ分ルマイト思ヒマス、ソレカラ又繼父母、嫡母、ソレカラ庶子孫、外孫、……外孫ト云フコトハゴザイマスケレドモ、外祖父母ト云フ者ハドウナサル、關君ノ御説デゴザイマスケレバ外祖父母ト云フモノハ一向構ハヌコトニナル、サウシテ見ルト云フト、子ガ自分ノ

母方ノ祖父母、父母ヲ殺シテモ通常ノ人ト、是ナラバ、見ナクテハナラヌ、ソレデ此一方ニ外孫ノコトガアリマスガ、外祖父母ト云フモノガ拔ケテ居ル、マルデ此養子ト云フモノモ是デハ分ラヌ、養子ト云フモノハ一體ドウ云フモノデス、家ニ入ッテ其家ノ尊屬親ニ對シマスレバドウスルト云フコトガ分ラヌ、成ルホド新律綱領ノヤウニ一々親族例ガアリマシテ養子ト云フモノハ養家ニ於ケル實家ニ同ジトカ云フコトガアリマシタラ分リマスガ、無ケレバ是モ分ラヌ、實ハ私ハ餘ホド此修正案ノ中ニハ分ラヌコトモアルガ、是エ谷君ノ御賛成ニナッタト云フコトハ、初メニ仰シヤル通り、御自稱ナサイマス通り、法律ヲソレダケ御研究ガ無イカラ御賛成ニナッタト思ヒマス

〔子爵谷干城君〕ソレダカラ研究ノ爲ニ再付託……ト呼ブ

斯様ナ趣意デゴザイマスカラ、ドウゾ速ニ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、唯今ハ二讀會ノ際デアリマスカラ、通常ナラバ逐條會議ニ移ル場合デアリマス、故ニ本案ノ第一編第一章第一條ヲ問題ニ供スベキデアリマスガ、本院規則第七十三條ニ據リマシテ「議長ハ逐條審議ノ順序ヲ變更シ」ト云フ明文ニ據リマシテ便宜上、關君ノ修正案ヲ一括シテ議題ト致シテ居ル考ヘデアリマス、左様御承知ヲ請ヒマス

○關義臣君 チョット一言イタシタイ、唯今村田君ハ大分間違ッテ居ル、一言辯ジテ置キマシテ其上デ決ヲ御採リヲ願ヒタイ、演臺ヘ出テ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

〔關義臣君演壇ニ登ル〕

○關義臣君 私ハ村田君ノ唯今ノ修正案ニ反對ノ御説ヲ伺ヒマシタガ、一々皆……實ハ少シ耳ガ遠イノデ記録ハ致シマセヌ、耳ニ分ッダケニ就イテ伺ヒタイ積リデアリマス、第一、村田君ニ伺ヒタイデスガ、此磔刑ト云フモノハ明治ニナッテカラ無イト云フコトヲ言ハレタガ、村田君ハ何デスカ、明治二年三年頃ハ何所ニ御奉職シテ、サウ云フコトヲ仰シヤルダラウカ、私ハ明治三年マデ地方官ヲシテ居リマシタ、現在先刻モ申シマシタガ、嘘ヲツク男デハナイ、立派ニ勅裁ヲ經テ磔ヲ……即チ先刻モ申シマシタガ明治元年五月カ六月頃ニ勅裁……伺ノ上ニ親殺シ不孝ノ罪ハ決セヨト云フ達シニナッテ、既ニ行政官ニ於テハ親殺シニ就イテハ伺ヒ……親殺シ不孝ノ罪何カハ勅裁、

磔トアリマス、決シテ此ノ關義臣ハ嘘ヲツクモノデハナイ、ドウゾ明治元年、二年ノ所ヲ御取調ヲ願ヒマス、餘リヒドイコトヲ仰シヤル、ソレカラ私ノ前ノ演説ニ就キマシテ御攻撃ヲ蒙リマシタガ、村田君ハ御承知ノ通り不孝ノ罪ハ重イ、親殺シノ罪ハ重イト云フコトヲ人民ニ知ラセルト云フコトハ御承知ダカラ申上ゲマセヌガ、私ハ刑法ヲ知ラサナケレバナラヌ趣意デアリマス、第一、刑法ト云フモノハ一般ニ皆刑法ヲ知ラセヌナラヌト云フコトノ明文ハアリマセヌ、明文ハアリマセヌケレドモ、既ニ刑法ニモ罪ヲ知ラズシテ……罪ヲ知ラズシテ無意犯……罪ヲ犯シタ者……イヤ是ハ失禮シマシタ、法律ヲ知ラズシテ罪ヲ犯シタル者ハト云ウテ罪ヲ免レルコトハ出來ナイ……刑ヲ免レルコトハ出來ナイト云フ御趣意デハナイカ、尤モ人民直接ニ是ハ知ラシテ置カヌナラヌ、併シナガラ一々刑法ヲ讀マセナケレバナラヌトハ私ハ申上ゲマセヌ、ケレドモ到底、親ニ不孝ヲスレバ斯ウ云フ罪ニナルト云フコトハ畢竟人民ニ心得サセルノガ當リ前デアル、唯今ハ制札場ガ無ウナッテ居ル舊幕ノヤウニ、故ニ刑法ニハ今日マデ馴レヌ……人民ノ耳ニ馴レテ居ル名稱ガ宜シイ、ソレナラバ幾分カ注意ヲ惹起シテ宜イト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマス、ソレカラ制札場ノコトニ就イテ切支丹宗門ノコトハ仰シヤラナイガ、是ハ私ガ申上ゲタ通り島原一揆ノ時分、舊幕時分ニ是ハ二條目ニナッテ居ル、是ハ殊更ニ人ト同等ニ惡事ヲ……切支丹宗門ヲ修ムル人、不孝ノコトハ幕府デモ大罪デアル、主人殺シガ無イトカ有ルトカ云フ御論ガアリマシタガ、サウ云フ所ノ論デハナイ、私ノ申上ゲマスノハ、又何カ主人殺シ、ソレカラ……夫殺シ、今ノ夫殺シ主人殺シノコトハ私ハ先刻サウ云フコトヲ申上ゲテハ居ラヌ、如何トナレバ是ハ祖父母父母ニ對スル罪ヲ正條ニ擧ゲテ置キタイト云フ趣意デアルカラ外ニハ涉ラヌノデアル、ソレカラ干名犯義ノコトナドノ御説モアリマシタガ、是ハ我々ハソコノ所ハ論ジ及バナイデス、宜シク私ノ修正案ニ御賛成デアレバ斯ウ云フコトハ私ハモウ御答申スコトハ無イ、ソレカラ癡癡ノコト、癡癡ノコトハ固ヨリアナタモ御承知ノ通り此現行法ニ癡癡ノ字ハ何ミト斷リハアリマスケレドモ、是ハ無クテモ皆人ニ分ルコトデアル、癡癡疾ト云ウテ、モウ片輪ノヤウニナッタモノハ、ドナタニモ分ル、ソレ故ニサウ云フコトガ分ルカ分ラヌカト云フコトハ幸ニ本員ノ論ガ御多數ヲ得タ以上ハ斯ウ云フ調ベハ總テ委員再付託ヲシテ差支ナイト先刻モ申上ゲタノデアル、外祖父母ハドウスルト云フ御話デゴザイマスガ、ソレハ本員ノ修正案

ヲ御覽下サレバ「自己又ハ」ト云フ字ガ取レタ以上ハ、後トノ殘ッテ居ルノハ當然外祖父母ヲ……本員ノ出シタ父母子孫例ニ皆網羅シテ置クト云フコトヲ私ハ言ウタノデアアル、到底配偶者ノ祖父母父母ト云ヘバ其祖父母父母ハ例ヲ舉ゲテ居ル、ソレハアレニ讓ッテアルカラ決シテ外祖父母ヲアレニ加ヘルニ及バヌ、ソレカラ養子云々トアリマシタガ、是ハモウアレニ置カヌナラヌト云フコトハ子タル者ノ内ニ養子モ何モ這入ルコトデアアル、即チ子孫例デ分ルコトデアアル、何デモナイ十分ソレデ分ルデアアル、賛成デハナイト云フコトノ御演說デアリマシタケレドモ私ハ賛成、ソレハ斷ッテ置キマシタ、賛成デアアルガ必要缺クベカラザル條ノ缺點ガアルカラ之ヲ補ウテ他ハ賛成デアアルト云フコトヲ申シマシタ、ソレデ私ハ敢テ嘯ヲツクモノデハナイ、アナタカラハ不賛成ノヤウニ御覽ニナリマシテモ不賛成デハナイ、皆不賛成デハナイ……左様ナ譯デハナイ、マダ村田君ノ御說ハアッタヤウデスガ、前ニモ述ベマス通り私ハ少シ近ゴロ耳ガ遠ウナリマシテ一々聴取レマセナンダカラ聴取ッタダケニ對シテ御答申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 鎌田榮吉君

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 鎌田榮吉君ニ發言ヲ許シマシタ

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 本員ハ關君ノ修正案ニハ其精神ニ於テハ深く賛成ヲ致スモノデアリマス、併ナガラ遺憾ナガラ此形ニ於テ之ニ賛成スルコトハ出來ナイ、矢張り反對デアアル、先刻來政府委員及特別委員諸君カラ既ニ此法律上ノコトハ段々御述ベニナリマシタガ、マア各國ノ此刑法ヲ比較シ、又各時代ノ法律ノ比較研究ヲスレバ必ズ其國其時代ニ流行スル所ノ罪ニ向ッテノ罰則ヲ嚴重ニ設ケテ居ルト云フコトハ是ハ明白ナコトデアアル、極之ヲ小サナ例ニ依ッテ申シマスト云フト、例ヘバ諸君ガ此横ヲ走リマスル所ノ電車ニ乗ル、サウスルト太股ヲ露ハスコト勿レト云フコトヲ書イテアル所ハ無イ、ト云フノハドウモ此日本人ニハ日本ノ著物ノ爲デモアリマセウケレドモ甚ダ見苦シイ太股ヲ露ハス者ガ往々アルガ爲メデアアル、然ルニ之ニ反シテ亞米利加ノ電車ニ乗ルト睡ヲ吐クコト勿レト云フコトガ書イテアル、ト云フノハ日本人カラ見マスト甚ダ之ヲ奇異ニ思ヒマスガ、亞米利加人ニハ餘程コノ睡ヲスルト云フ習慣ガ甚シ

イノデ、トシマスルト云フト今、關君ノ說ノ如クニ、又谷君ノ賛成セラルル如クニ父母ヲ殺ス者、祖父母ヲ殺ス者ト云フコトヲ特ニ此刑法ノ正條ニ掲ゲルト云フコトハ如何ニモ苦ミシイコトデアアル、若シ此日本ガ即チ關君ノ言ハルル如ク貴ブベキ所ノ國體デアリマシテ、皆克ク忠ニ克ク孝デアアルナラバ何ノ必要アッテ此父母ヲ殺ス者、祖父母ヲ殺ス者ナドト云フヤウナ如何ニモ苦ミシイ所ノ、見ルモ忌ハシク聞クモ忌ハシキ所ノ、斯ノ如キ文字ヲ羅列スルト云フコトハ本員ノ忍バザル所デアリマス……

〔子爵谷干城君「今日ハ往々見マス、サウ云フ者ガ……ト述ブ」

然ルニ今日ノ刑ノ正條ニハ父母、祖父母ト書イテアリマス、即チ其刑法ニ父母ト云フ文字ガ何ノ效ヲ成スカ、祖父母ト云フ文字ガ何ノ效ヲ成スカ……

〔子爵谷干城君「ソレダケ惡人ヲ少ウスル、皆無イト云フコトハ出來ナイ」ト述ブ〕

然ルニ今日ノ日本ヲ見マシテ決シテ父母祖父母ヲ殺ス者ガ甚ダ多イト云フ譯ニハ行キマセヌ、ソレハ能ク統計ヲ取ッテ御示シニナルナラバ承服イタシマスガ、唯漠然ト新聞ニ出ルト云フヤウナ御論ナラバ承服イタシマス、谷君ノ御幼年ノ時ハ新聞ガアリマセヌ、然ルニ今日ハ新聞ガアリマシテ、凡ソ父母ヲ殺スガ如キ極惡ノ者ハ新聞ニ長ク出マスデゴザイマス、併ナガラ果シテ是ガ非常ニ多クッタナラバ逆モ新聞ニ出シ切レナイデアリマス、併ナガラ此直系尊屬ヲ殺傷スル者ト云フ此正條ガアレバ、若シ偶、斯ノ如キ極惡ノ罪科ヲ犯ス者ガアッタトキニハ即チ其正條ニ照シテ之ヲ罰スルト云フコトデアアル、決シテ此刑法ヲ以テ德教トスル譯ニハ行カナイ、道德ノ教、論語ノ代リニ刑法ヲ使フト云フコトハ決シテ是ハ文明ノ時代ニハ出來マセヌ、野蠻時代ニ於テハ法律モ德教モ區別ハアリマセヌ、ソコデ教育ノ勅語ガアリマスレバ勅語即チ刑法ニモナリ、勅語即チ民法ニモナルデアリマスガ、今日ハサウ云フ譯ニハ行カヌ、即チ人心ノ根本ヲ養フ上ニ於テハ、道德ノ教ヲ以テ之ヲ涵養シナケレバナラヌ、即チ其德教ニ於テハ克ク父母ニ孝ニ、兄ニ悌ニト云フヤウナコトヲ御親切ニ仰セラレテ居リマスケレドモ、之ヲ直グニ刑法ニ書カウト云フコトハ出來ナイ、例ヘバ若シ國家緩急アルトキハト云フ言葉ヲ直グニ之ヲ法律ニドウシテ書キ現ハスコトガ出來マセウ、外國ト戰端ヲ開クトキニハ必ズ召集ニ應ズベシト云フコトハ是ハ法文トシテ書クコトハ出來ルガ、國家緩急アルトキハ云々ト云フコトハ之ヲ法律ノ明文トシテ書クコトハ出來マセヌ……

「子爵谷干城君」名稱ハ書ケズトモ父母ト云フコトハ……ト述ブ」
ソレハ刑法ノ講義ニハ書ケルガ例ニハ書ケナイ、併ナガラ斯ノ如キ漠然タル
言葉ヲ以テ文明社會ノ法律ノ正條トスルヤウナコトハ到底出來ナイ

「子爵谷干城君」歐羅巴ノ父母ヲ蔑ロニスルガ果シテ文明力、是ハマ
ダ疑問デアアルト述ブ」

歐羅巴ノコトハ申シマセヌ、而シテ此日本國民ガ果シテ忠孝ヲ重ンズルト云
フ、谷君ノ御説ノ如クデアラナラバ、其父母ヲ殺スヤウナ極惡ノ者ガ比較的
歐羅巴ヨリ少イニ違ヒナイ、然ルニ何ヲ苦ンデ、アノ谷君ノ見解ニ從ヘバ、
父母ヲ殺ス者ガ甚ダ多キ歐米ニモ無イ所ノ其正條ヲ日本ノ少イ所ニ書キ上
ルト云フ必要ハ決シテアリハシナイ、如何デゴザイマセウカ……

「子爵谷干城君」大變必要ガアル、父母ト云フコトニ於テハ大變我
ハ必要ガアル、斷然我ハ此所カラ御答ヲスル、ナンボデモ御答ス
ルト述ブ」

又コノ法律ノ正條ニ總テ比較的重要ナモノヲ特ニ明記シナケレバナラヌト云
フ必要ガアルナラバ、例ヘバ等シク直系尊屬ヲ殺ス中ニモ父母ヲ殺ス者ハ云
々ト書カナケレバナラヌト言ヘバ、放火罪ノ如キモ例ヘバ神社佛閣ノ如キモ
ノハ、是非非常ニ此敬神ノ情ニ於テ尊アベキモノデアアル、ソレヲ單ニ人家ニ放
火スルナント云フノデハイケマセヌ、神社佛閣ニ放火スル者ハ云々ト斯ウ云
フコトヲ書カナケレバナラヌ……

「子爵谷干城君」ソレハ例ニナラヌ、父母ト云フガ人ノ本デアアルト
述ブ」

又人ノ財産ヲ侵スコトガ刑ニ於テ惡ムベキモノデアアルナラバ、等シク其家ヲ
燒クニシテモ貧乏人ノ家ヲ燒クヨリモ、金持ノ家、富豪ノ家ヲ燒クヨリモ、銀
行ヲ燒ク者ハ重キ刑ニ處スルト明記セナケレバナラヌ、斯ノ如キコトガドウ
シテ出來マセウ……

「子爵谷干城君」サウ云フ論デハナイ、サウ云フ馬鹿ナ論デハナイ」
ト述ブ」

斯ノ如キ即チ谷君ノ仰シヤルガ如クニ、日本ガ外國ト戰爭ヲシテモ即チ此忠
勇義烈ノ爲ニ克ク戰ツテ勝ツト云フノニ、法律ガ斯ノ如キコトデハ即チ直系
尊屬ノ如キ文字ヲ漠然ト書キ上ゲテ、而シテ父母祖父母ヲ明記セヌヤウナ考
デハ、到底外國ト競爭スルコトハ出來ナイト云フ御説デアリマシタガ、本員

ハ全ク此谷君ノ言葉ヲ拜借シテ、斯ノ如キ折角コノ軍事ニ於テ忠勇、武勇ナ
ル所ノ國民ニシテ、法律ノ思想ニ於テ斯ノ如キ粗糙ナ考ヲ未ダ持ツ間ハ、日
本ノ文明、日本ノ武勇ト云フモノモ眞ノ文明的武勇デナイト云フコトヲ評サ
レテモ致シ方ハ無イノデアリマス……

「子爵谷干城君」往々西洋人ニサウ云フ説ヲスル人ガアルト述ブ」

西洋人ニサウ云フ説ヲスル人ガアレバ、ソレハ正シイ説デアリマス、日本人、
西洋人ト區別ヲスル必要ハ無イ、西洋ノ惡風俗ヲ輸入シタトカ、西洋人ノ眞
似ヲシタトカ云フコトハ我々ノ承服スルコトノ出來ナイコトデアリマスカ
ラ、斯ノ如キ關君ノ修正説ノ爲ニ再ビ之ヲ委員付託ニスルナドト云フコトハ
甚ダ無駄ナ手數ヲ掛ケルコトデアリマスカラシテ、宜シク是ハ御撤回ニナ
タナラバ宜カラウト思ヒマス、此段ヲ御勸告申上ゲタイト思ッテ一言述ベタ
次第デアリマス

「子爵谷干城君」御勸告ハ受ケマセヌト述ブ」

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、關義臣君ノ提出ニ相成リマシタ
修正案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 大少數ト認メマス

「子爵谷干城君」再付託ノ動議ヲ起シテゴザイマス」ト述ブ」

○議長(公爵德川家達君) 再付託ノ動議ハ未ダ賛成者ノ聲ヲ議長ハ聽キマセ
ヌ

「子爵谷干城君」如何デス、再付託ニ賛成ハ無イデスカ」ト述ブ」

○議長(公爵德川家達君) 凡ソ動議ハ賛成者ヲ待ッテ議題ト致シマス

「子爵谷干城君」私ハ大賛成デゴザイマス」ト述ブ」

○議長(公爵德川家達君) 一章ヅ、ヲ問題ニ供シマス、刑法第一編第一章：

原案デ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二章ヨリ第六章マデ：

原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第七章ヨリ第八章マデ：
特別委員會ノ修正デ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第九章ヨリ第十三章マデ
… 原案御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第二編第一章ヨリ第七
章マデ… 原案御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第八章ヨリ第二十一章マ
デ… 特別委員會ノ修正通り御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二十二章ヨリ終マデ…
特別委員會ノ修正デ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ… 議長
ハ誤リマシタ、目次ハ特別委員會ノ修正通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議無イト認メマス、次ハ「刑法別冊ノ通り之
ヲ定ム」… 三項アリマスガ、是モ原案デ御異存アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニ於テ第二讀會ハ終リ
マシタ

○村田保君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 賛成

「其他」賛成」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 村田保君ノ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ說ニ賛成ガ
アリマスカラ議題ト致シマス、村田保君ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、… 第二讀會ノ決議案

通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第十四、北海道地方費法中改正法律
案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

北海道地方費法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年二月十六日

右特別委員長

公爵二條 基弘

貴族院議長公爵德川家達殿

「公爵二條基弘君演壇ニ登ル」

○公爵二條基弘君 北海道地方費法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ
御報道イタシマス、委員會ニ於キマシテ、此法案ニ對シマシテ、篤ト政府ノ意
向モ聽キ即チ説明モ能ク聽キマシタ、ソレデ又我々ガ十分ニ調査ヲ致シマタ
ノデアリマスガ、其意味ト云フコトニ付イテハ、最早此簡單ナルモノデアリマ
ス通りデ、是マデハ地方制ノ北海道ニ布カレタ其法律ノ結果トシテ營業者ノ
ミニ徵稅シテ此權利ヲ享有シテ居ル者ニハカカラナンダ、即チ除ケラレテ居
ッタ姿ニナッテ居ルノデ、此法案ニ付イテハ今度此營業者ト共ニ享有者ニモ此
稅ノ負擔ヲサス、サウシタナラバ權衡ヲ得テ宜カラウト云フ案デアリマス、
此所ニ於テ疑惑ガアリマスガ、斯ウ云フ營業者ノ外、今度ハ享有者ニモ此徵
稅ノ負擔ヲサスルト云フコトニスルト少シ稅ヲ又更ニ増スト云フヤウナ嫌ハ
アリマスルデス、ソレニ付イテ政府ノ方ノ意向ヲ聽キマシタ所ガ、決シテサ
ウ云フコトデハナイ、是マデ營業者カラ徵稅シタ金額ヲ此度ハ營業者竝ニ享
有者ト共ニ負擔サスルノデアルカラ、金額ニ於テハ寧ロ營業者ニ取ッテ是マ
デヨリ負擔ガ輕クナルト云フコトデアリマス、右様ナル理由ヲ以テ委員會ハ
至極此案ヲ適當ナルモノト認メマシタニ付イテ滿場一致ヲ以テ原案通り可決
イタシマシタ、終ニ臨ミマシテ此案ハ極簡單ナ右様ナル理由ノアルモノデア
リマスカラ諸君ノ同意ヲ得マシテ讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ希望イ
タシマス

○南郷茂光君 讀會省略ニ賛成

○男爵松平正直君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○宮島誠一郎君 賛成

○子爵三島彌太郎君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 二條公爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成ガゴザイマシタ、二條公爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異存ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ニ議事日程第十五、千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、德川侯爵

千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年二月十六日

右特別委員長

侯爵德川 賴倫

貴族院議長公爵德川家達殿

「侯爵德川賴倫君演壇ニ登ル」

○侯爵德川賴倫君 唯今議題ニナリマシタル特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、委員ハ一昨十六日午前十時ニ集會イタシマシテ、正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシタ、引續キ會議ヲ開キマシタ、委員會ニ於キマシテハ政府委

員ヨリ提出ノ理由竝ニ説明ガゴザイマシテ、委員ヨリ事々物々質問ガゴザイマシダガ、異議ナク全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第ゴザイマス、本案ニ就キマシテ御質問等ガゴザイマスレバ、ドウカ政府委員ニ御質問アラムコトヲ願ヒマス

○男爵野田裕通君 此法律案ハ極メテ簡單ナルモノデゴザイマスカラ、ドウカ讀會省略デ議決アラムコトノ動議ヲ……

○南郷茂光君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

○中島永元君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵松平忠禎君 賛成

○子爵稻垣太祥君 賛成

○子爵伊集院兼知君 賛成

「其他」賛成「ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 野田男爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニ於テ本日ノ議事ハ終リマシタ、次ノ議事日程ハ決定次第ニ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午後二時五十四分散會